

2019年8月28日
大阪府議会2025年大阪・関西万博推進特別委員会

大阪・関西万博の開催に向けた取組み

**EXPO
2025**
OSAKA, KANSAI, JAPAN

2019年8月
大阪府政策企画部万博協力室

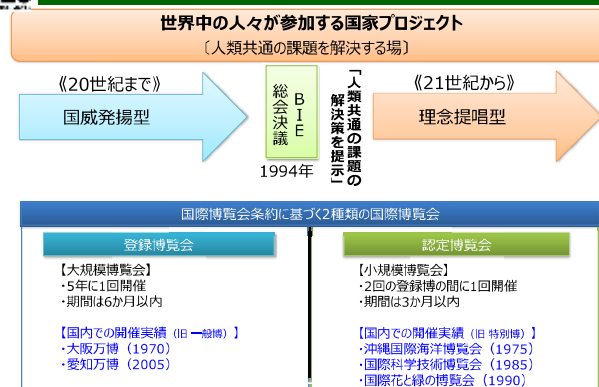
〔本日の内容〕

- 1 国際博覧会について
- 2 大阪・関西万博の概要
- 3 万博開催の意義
- 4 これまでの誘致活動
- 5 開催に向けた現在の取組み

2

1 国際博覧会について

1-1 万博の推移



※ 1996年以前は「一般博」と「特別博」に区分されていたが現在は「登録博」と「認定博」に区分されている。

4

1-2 過去の国際博覧会とそのテーマ

- 当初は国威発揚や殖産興業がテーマの中心であったが、1994年BIE総会において「人類共通の課題の解決策を提示」が決議され、21世紀に入り、地球的課題と人類社会の持続的な発展がテーマの中心に。

開催年	BIE分類	イギリス	開催国	名 称	テーマ
1851	イギリス			ロンドン万国博覧会	
1853	フランス			パリ万国博覧会	
1855	フランス			パリ万国博覧会	
1876	フランス			パリ万国博覧会	「現代生活の平和の芸術と技術」
1877	（中国）				
1879	一般博	日本		日本万国博覧会（大阪万博）	人類の進歩と調和
1874	特別博	アメリカ		セントルイス万国博覧会	自然の美しさ
1875-1976	特別博	日本		沖縄国際海洋博覧会	海—その望ましい未来
1982	特別博	アメリカ		ノックス国立公園国際博覧会	エネルギー—世界の原動力
1984	特別博	アメリカ		ニールソン国際博覧会	海の博覧会—社会の進歩
1985	特別博	日本		国際科学技術博覧会（つくば博）	人類、居住、環境と科学技術
1986	特別博	カナダ		バンクーバー国際博覧会	動く世界、未来の未来
1988	特別博	オーストラリア		ブリスベン国際博覧会	技術時代のシンボル
(1990)	（特別博・国営博）	（日本）		（国際花と緑の博覧会）	「花と緑と人間生活のかけむらぎを捉え、21世紀へ向けて築いていく豊かな社会の創生を目指す。」
1992	一般博	スペイン		セビリア万国博覧会	世界の文化
1992	特別博	イタリア		シニョーラ万国博覧会	文化と芸術—新しい未来への道
1993	特別博	韓国		大田「アジア」万国博覧会	発展の途にある新しい未来への道
1998	特別博	ドイツ		ハルシュタット万国博覧会	海洋—未来への道
2000	一般博	ドイツ		ハルシュタット万国博覧会	人類—芸術・技術
2005	登録博	日本		2005年日本国際博覧会（愛知万博）	自然の恵み
2008	認定博	スペイン		リャゴロ国際博覧会	水・都市の持続可能な開発
2010	登録博	中国		上海国際博覧会	より良い都市、より良い生活
2012	認定博	韓国		慶州万国博覧会	生き生きと未来の未来
2015	登録博	イタリア		ミラノ国際博覧会	持続可能な未来、未来の未来
2017	認定博	アラブ首長国		ドバイ国際博覧会	未来の未来
2020	登録博	アラブ首長国		ドバイ国際博覧会	心をつなぐ、未来を創る
2023	認定博	アルゼンチン		ブエノスアイレス国際博覧会	人類発展への科学、革新、芸術、創造性

5

1-3 日本における国際博覧会

	1970年	1975年	1985年	1990年	2005年
名称	大阪万博	沖縄海洋博	つくば博	大阪国芸博（花博）	愛知万博（愛・地球博）
区分	登録博（一般博）	認定博（特別博）	認定博（特別博）	認定博（特別博）	登録博
テーマ	人類の進歩と調和	海—その望ましい未来	人間・居住・環境と科学技術	—	自然の恵み
来場者数	約6400万人	約350万人	約2000万人	約2300万人	約2200万人
参加国等	76か国 4国際機関	36か国 3国際機関	47か国 37国際機関	82か国 55国際機関	121か国 4国際機関

⇒ 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）は、大規模な「登録博覧会」

6

2 大阪・関西万博の概要

2-1 大阪・関西万博のテーマ

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン
「Designing Future Society for Our Lives」

サブテーマ

- ◆多様で心身ともに健康な生き方
- ◆持続可能な社会・経済システム
- 真の豊かさを感じられる生き方、それを可能にする経済・社会の未来像を参加者で共に創る。

コンセプト

未来社会の実験場「People's Living Lab」

7

8

**EXPO
2025**

■名称

◆日本語（正式）：2025年日本国際博覧会 /（略称）：大阪・関西万博
◆英語：EXPO2025, OSAKA, KANSAI, JAPAN

■開催期間

2025年5月3日（土）～11月3日（月）までの185日間

■開催場所

夢洲
約155ha

■入場者（想定）

約2,800万人

■ 開催経費

<会場建設費>
1,250億円（想定）
<運営費>
820億円（想定）



資料提供：經濟產業省

0

**EXPO
2025**

2-3 会場イメージ



資料提供：經濟產業省

14

**EXPO
2025**

■「待ち時間ゼロ」の万博

- ・会場内の移動時間等を活用した参加型実証実験を行うことで、体験あふれる環境を提供
- ・IoT活用により、施設の空き状況を明確化し、会場を快適に巡ることができる



■「EXPOテーマ体験」プログラム

- ・来場前にPeople's Living Labの特設サイト上のバーチャル会場で出迎えの演出
- ・来場者へのオリエンテーションとガイダンスを通して、テーマやメッセージを映像や展示を中心に紹介
- ・未来社会の共創の体験ができるプログラムを実施

⇒「10歳若返る万博」
「健康になる万博」をめざす



1

**EXPO
2025**

2-5 会場へのアクセス（輸送の流れ）

[illegible]

1

**EXPO
2025**

2-6 会場へのアクセス（輸送ルート）



**EXPO
2025**

3-1 2025年万博開催の意義

- 万博が持つ、「圧倒的な求心力・発信力」「世界との出会いによる人の交流促進」により、イノベーションを巻き起こし、日本経済を活性化。
- 万博には世界中の叡智が結集。人類共通の課題の解決を提示。大阪・関西・日本発の技術や取組みが世界の健康長寿など様々な課題解決に貢献。SDGs（持続可能な開発目標）達成にも寄与。
- 経済波及効果は約2兆円にのぼる。2020年東京オリンピック・パラリンピック後の大阪・関西・日本の成長を牽引する起爆剤に。

1

**EXPO
2025**

3-2 キーワード「SDGs」

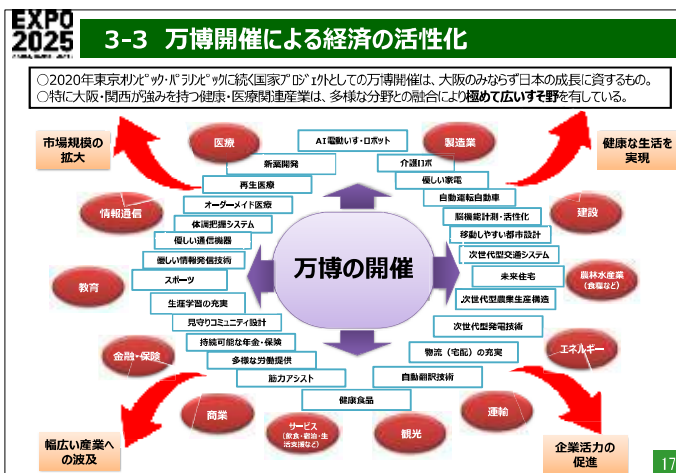
- 2015年国連サミットで、2030年までの国際目標として、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択
- 17のゴールからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」を掲げている。
⇒これら課題の解決により地球上の誰もが住みやすい環境づくりを！
⇒2025年時点で大阪・関西から解決策を世界に発信しよう！



※SDGs : **S**ustainable **D**evelopment **G**oals

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくば未来
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

1



3-4 経済波及効果

○会場建設による投資、企業の出展などの運営に加えて、交通、宿泊、飲食、買い物などの消費支出などが相まって、経済波及効果は全国で約2兆円と試算されている。

万博の経済波及効果

(単位: 兆円)

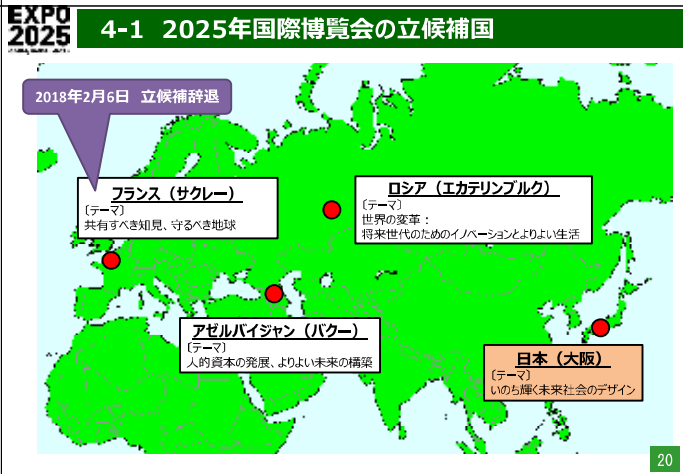
	建設費	運営費	消費支出	計
最終需要	0.2	0.2	0.7	1.1
経済波及効果	0.4	0.4	1.1	1.9

資料: 2025国際博覧会検討会報告書(経産省) 2017年3月

約2兆円

さらに、万博のコンセプト等に関わる分野での市場の伸長や企業の投資、会場外、開催期間前後の消費需要拡大、関連する大規模イベント開催等の間接的な誘発

4 これまでの誘致活動



4-4 BIE総会における投票結果

【第1回目】	156票
◎日本	85票
◎ロシア	48票
アゼルバイジャン	23票

【決選投票】	155票
◎日本	92票
ロシア	61票
棄権	2票

5 開催に向けた現在の取り組み

EXPO2025

5-1 2025年日本国際博覧会協会の概要

■ 名称

一般社団法人 2025年日本国際博覧会協会（公益社団法人へ移行予定）

■ 目的

2025年日本国際博覧会の準備及び開催運営等を行い、博覧会を成功させることをもって、国際連合の掲げる持続可能な開発目標の達成に貢献するとともに、わが国の産業及び文化の発展に寄与することを目的とする。

■ 設立日

2019年1月30日（事務所開設2月1日）

■ 主たる事務所の場所

大阪府吹洲庁舎43階

■ 役員構成

会長：中西 経団連会長
副会長：松本 関西連会長、尾崎 関西商工会議所連合会会長・大商会議、池田 関西経済同友会代表幹事、立石 京商会議、家次 神奈川会議、三村 日商会議、櫻田 経済同友会代表幹事、吉村 大阪府知事、松井 大阪市長、井戸 関西広域連合会長
監事：小原 さっかわ法律事務所 代表弁護士、中務 中務公認会計士・税理士事務所 所長

■ 事務局体制

事務局

総務局（総務、広報報道、契約、経理、公益認定申請 など）

企画局（登録申請書の作成、基本計画の策定 など）

整備局（会場整備計画、交通対策 など）

国際局（BIE総会、BIE加盟国の調整 など）

副事務局

※人員：国・大阪府・大阪市・経済界より職員を派遣。職員数：105名（2019年8月現在）

25

EXPO2025

5-2 最近の主な動きと今後のスケジュール

<最近の動き>

2019年	1月30日	（一社）2025年日本国際博覧会協会設立
	4月19日	万博特措法の成立
	5月15日	博覧会協会の臨時社員総会・理事会で理事、事務総長、副事務総長選任
	5月28日	BIE（博覧会国際事務局）総会で、進捗状況報告
	5月31日	国が博覧会協会を、特措法に基づき準備・運営法人として指定
	6月27日～29日	G20大阪サミット会場「大阪・関西魅力発信スペース」等において、大阪・関西万博のPR活動を展開

<今後のスケジュール>

年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
スケジュール	開催国決定	11/23 「一社」法人として「博覧会協会」設立 年内 公益社団法人へ移行 年内 登録申請書の提出（自願） 6月 BIE総会（登録申請書の承認） 秋頃 基本計画の策定 10月～ ドバイ博（登録）（予定） 正式な参加国招請の開始 会場整備計画の検討 法令手続き 実施設計 会場建設工事 1月～4月 ブエノスアイレス博（開催） 5月～11月 万博開催						

26

EXPO2025

5-3 今後の主な課題

①登録申請文書の提出（2020年5月期限）

②参加国の招請（2020年6月以降）

③開催費用の確保

④観客輸送の計画、関連公共事業の実施

⑤2025年に向けた機運の盛り上げ

等

27

資料 1

2017年10月24日
大阪府議会2025年国際博覧会誘致特別委員会

2025年国際博覧会の大阪誘致に向けた取組みについて

OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO2025

World Expo 2025
Candidate

政策企画部
万博誘致推進室

目次

1. 国際博覧会について.....	3
2. 2025年国際博覧会の立候補国について.....	9
3. 誘致体制について.....	13
4. 「2025日本万国博覧会誘致戦略」について.....	16
（1）海外誘致活動の取組み.....	19
（2）国内機運醸成の取組み.....	27
5. 誘致に向けた課題と取組みの方向性.....	40

2

1. 国際博覧会について

3

1-1 国際博覧会とは

● 国際博覧会条約（以下「条約」という。）に基づき、複数の国が参加して行われる博覧会のこと。

● 博覧会は、大規模な博覧会（登録博覧会）と、2つの登録博覧会の間に開催される博覧会（認定博覧会）の2種類がある。

● 条約に基づき、国際機関である博覧会国際事務局（BIE:Bureau International des Expositions 本部はパリ）が設立されている。

● 万博の目的は20世紀までは「国威発揚型」であったが、1994年BIE総会において「人類共通の課題の解決策を提示」が決議され、21世紀からは理念促進型とされている。

登録博と認定博

	登録博覧会	認定博覧会
開催期間	6週間以上6か月以内	3週間以上3か月以内
会場規模	制限なし	25ヘクタール以内
開催時期	5の倍数の年ごと	2つの登録博覧会の間で1回

※これら2種類以外に、ミラノ（イタリア）で3年毎に開催されるトリエンナーレ及び国際園芸博覧会も条約上の国際博覧会と位置づけられている

4

1-2 過去の国際博覧会とそのテーマ

● 当初は国威発揚や産産興業であったが、1994年BIE総会において「人類共通の課題の解決策を提示」が決議され、21世紀に入り、地球的課題と人類社会の持続的な発展がテーマの中心に。

開催年	BIE分類	開催国	名 称	テーマ
1851		イギリス	ロンドン万国博覧会	
1853		アメリカ	ニューヨーク万国博覧会	
1855		フランス	パリの万国博覧会	
(中略)				
1857		フランス	パリの万国博覧会	「現代文明の栄光と芸術」
(中略)				
1870	一般博	日本	日本万国博覧会（大阪万博）	人類の進歩と調和
1874	特別博	アメリカ	セントルイス万国博覧会	自然の進歩
1876～1876	特別博	日本	神戶万国博覧会	第一その星まじり未来
1882	特別博	アメリカ	ノックスビル万国博覧会	エネルギーは世界の原動力
1884	特別博	アメリカ	セントルイス万国博覧会	人類の進歩と調和
1885	特別博	日本	国際科学技術博覧会（つくば万博）	人類、自然、環境と科学技術
1886	特別博	カナダ	バンクーバー万国博覧会	動く世界、ふれあう世界
1888	特別博	オーストラリア	ブリスベン万国博覧会	技術時代のレジーナ
(1990)	(特別博・認定博)	(日本)	(国際花と緑の博覧会)	「花と緑と人間生活のかかわりを探え、21世紀へ向けたいの多る豊かな社会の創生を目指す。」
1992	一般博	スペイン	セビリア万国博覧会	発展の時代
1992	特別博	イタリア	ジェノヴァ万国博覧会	水・都市の持続可能な開発
1993	特別博	韓国	大田（テグ）万国博覧会	発展のための新しい道への発展
1998	特別博	オーストラリア	リスボン万国博覧会	海洋—未来への遺産
2000	一般博	ドイツ	ハノーヴァ万国博覧会	人間・自然・環境
2005	登録博	日本	2005年日本国際博覧会（愛知万博）	自然の恵み
2008	認定博	スペイン	サラゴサ万国博覧会	水・都市の持続可能な開発
2010	登録博	中国	上海万国博覧会	より豊か、より健康、より持続可能な未来
2012	認定博	韓国	釜山万国博覧会	未来のエネルギー
2015	登録博	イタリア	ミラノ万国博覧会	地球に食料を、生命にエネルギー
2017	認定博	カタール	ドハ万国博覧会	未来のエネルギー
2020	登録博	アラブ首長国連邦	ドバイ万国博覧会	心をつなぎ、未来を創る

5

資料- 4

1-3 日本は1970年大阪万博以来、5つの国際博覧会を開催

国際博覧会の開催は、日本の魅力を世界に発信する絶好の機会。開催地のみならず、日本を訪れる観光客が増大し、地域経済が活性化する「起爆剤」になる。

	1970年	1975年	1985年	1990年	2005年
名称	大阪万博	沖縄海洋博	つくば博	大坂国営博	愛・地球博
区分 ※1	一般博	特別博	特別博	特別博 (国営博)	一般博
テーマ	人類の進歩と 調和	海一の望ま しい未来	人間・居住・環 境と科学技術	一	自然の叡智
来場者数	約6400万人	約350万人	約2000万人	約2300万人	約2200万人
参加国等	76か国 4国際機関	36か国 3国際機関	47か国 37国際機関	82か国 55国際機関	121か国 4国際機関

※1 1996年に現在の「登録博」と「認定博」に区分。それ以前は「一般博」と「特別博」に区分されていた。

1-4 博覽會國際事務局 (BIE:Bureau International des Expositions)

- 国際博覧会条約(以下「条約」という。)(1928年署名)に基づき、国際機関である博覧会国際事務局(BIE:Bureau International des Expositions)が設置されている。
- 本部はパリ。
- BIEは、博覧会主催国の選出、博覧会開催の監督を実施。
- 条約加盟国は170(2017年10月現在)。
- 総会議長はクリステンセン氏(デンマーク出身)、事務局長はロセルタレス氏(スペイン出身)。
- BIEの各国政府代表は、条約上、各国3人まで任命することができる。
- 日本政府代表は、内閣により3人(在仏日本大使館の次席公使など)が任命されている。
- 投票は1国1票である。

1-5 B I E加盟国と万博開催地決定ルール

■ BIE加盟

[illegible]

■開催地決定ルール

- ・加盟国の投票（1回1票）による。
- ・1か国が2/3以上の支持を集めれば開催地に決定。
- ・最多得票数が2/3以上の支持を獲得できない場合、最下位の国を落として投票を繰り返す。
- ・残り2か国になったところで、過半数の支持を集めれば開催地に決定。

2. 2025年国際博覧会の立候補国について

2-1 2025年国際博覧会の立候補国



2-1 2025年国際博覧会の立候補国

国名	都市名	開催期間	テーマ	参考
フランス	パリ郊外 サクレ	5月1日～ 10月31日	共有すべき知見、守るべき地球 (Sharing our Knowledge. Caring for our Planet)	・パリは過去6回開催。前回は1937 年開催。 ・パリは2024夏季オリンピック開催 決定。
日本	夢洲（大 阪市）	5月3日～ 11月3日	いのち輝く未来社会のデザイン (Designing Future Society for Our Lives)	・日本開催は2005年愛知以来。 ・大阪開催は、1990年国際化と緑 の博覧会（特別博）以来。
				⇒資料2 ビッドドエ参照
ロシア	エカテリ ンブルグ	5月2日～ 11月2日	世界の変革：将来世代のための イノベーションとよりよい生活 (Changing the World: Innovations and Better Life for Future Generations)	・ロシアは過去開催実績無し。 ・エカテリンブルグはスウェルドロフ スク州の州都でウラル地域の工 業・文化の中心。人口約140万人 ・エカテリンブルグは2020年万博に 立候補したが決選投票でドバイに 敗れる。
アゼルバ イジャン	バクー	5月10日～ 11月10日	人的資本の発展、よりよい未来 の構築 (Developing human capital, building a better future)	・アゼルバイジャンは過去開催実 績無し。 ・バクーはアゼルバイジャン共和国 の首都で人口約200万人。 ・バクーは2020夏季オリンピックに 立候補したが敗れる。

資料：BIEホームページ、地誌情報等をもとに、万博誘致推進室で作成。

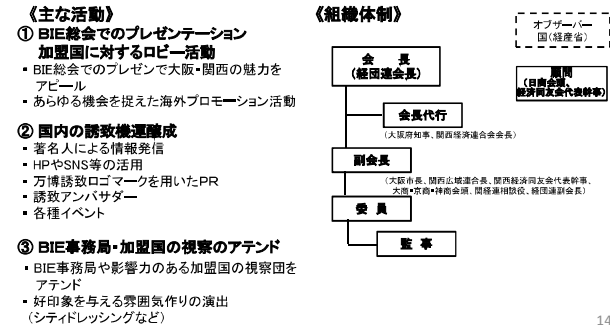
2-2 2025年国際博覧会の決定までのスケジュール

時期	内容
2017年9月25日	BIE事務局へ開催申請文書(ビッド・ドシエ)提出
2017年11月15日	BIE総会(第2回プレゼンテーション)
2018年1～3月頃 (予定)	BIE調査団の来日 ※BIE調査団は、立候補国を順次訪問予定
2018年6月	BIE総会(調査団報告書をもとに、執行委員会が各立候補国を次回、11月総会における投票に進めさせていとか否かについて勧告を出し、総会において採決。第3回プレゼンテーション。)
2018年11月	BIE総会(最終プレゼンテーション後、投票で開催国を決定)

3. 誘致体制について

3-1 2025日本万国博覧会誘致委員会

■ 誘致委員会とは…誘致活動を推進する官民連携の全国（オールジャパン）組織
（会長）榊原経国連会長
（設立）2017年3月27日
（会員）設立当初、55企業・団体、60行政機関、山中教授など27名（※当初）



14

3-2 国等との役割分担

- ＜役割分担の考え方＞
- ① 国（外務省・経済産業省をはじめとする関係省庁）、誘致委員会（自治体、経済界）が一体となって誘致活動を展開
・ 国、自治体、経済界がそれぞれの役割や強みを活かし、三位一体で効果的に支持要請を行う。
（役割分担例）
国………〔国を代表する立場〕 日本での万博開催意義・内容、開催コンセプトを各国に伝え、支持拡大を目指す
自治体……〔地元開催地を代表する立場〕 大阪・関西での万博開催意義、地域の魅力をアピール、ホストシティとしての熱意を示す
経済界……〔民間での活動を代表する立場〕 今回の万博のテーマに基づき課題解決のための具体的な技術支援の提示、民間の有する様々なチャンネルを通じたプロモーション活動を行う
 - ② 協力していただけるセクターとは積極的に連携し、効果的にプロモーション活動を進める
・ 国際的な活動を行う財団や協会、N G Oに加えて誘致に前向きな自治体、議会など、さまざまな団体と積極的に連携し、あらゆる角度からB I E加盟国に対して、働きかけを行う。

15

4. 「2025日本万国博覧会誘致戦略」について

16

4-1 誘致委員会「2025日本万国博覧会 誘致戦略」

「2025日本万国博覧会誘致戦略」（平成29年9月 誘致委員会において策定）
➢ 誘致活動を取り巻く状況を踏まえて、「海外誘致」と「国内機運醸成」について、今後取り組むべき戦略を打ち立て、各主体と共有することによって、誘致活動を総合的、かつ効果的・効率的に推進する。

誘致活動の基本方針

- ① 海外誘致活動
・ BIE加盟国のうち、より多くの国が日本、大阪・関西を支持してくれることを目指す。
そのため、国と連携しつつ、自治体、経済界などがもつ、あらゆるチャンネルを活かすとともに、国際会議などの機会を効果的に活用し、万博開催テーマの意義や、日本、大阪・関西の魅力について、理解を求め、支持を働きかける。
- ② 国内機運醸成
・ 日本が立候補4か国の中で、最も国内機運が醸成されていることを目指し、できるだけ数値等で国内外に示す。
⇒他国を圧倒する機運醸成に向け、自治体、経済界の主体的な取組みを広げ、会員数や賛意を示す人々を増やす。これを数値等で明示し、BIE総会、誘致委員会HP等でアピール。
⇒2018年1～3月のBIE現地調査において、国内、地元機運の高まりを調査団が体感できるように取り組む。

17

4-1 誘致委員会「2025日本万国博覧会 誘致戦略」

今後の取り組むべき方向性

この間の誘致活動を取り巻く状況をふまえ、誘致委員会では今後の取り組むべき戦略を打ち立て、各主体と共有することによって、誘致活動を総合的、かつ効果的・効率的に進めていく。

- ① 海外誘致活動
・ 4か国による誘致競争を勝ち抜くため、まずは、BIE加盟国に対し、全方向的にあらゆる外交ルート・国際会議等の機会を通じて、日本、大阪・関西のPRを実施。
・ 万博に向けて生み出される新技術等の発信を通じて、国連が掲げるSDG s（持続可能な開発目標）の実現に向け貢献していくこともアピール。
・ 国、経済界、自治体が三位一体となり、国による外交交渉のほか、議員、自治体、企業、団体等と協力し、様々なルートを活用しながらプロモーション活動に取り組む。各国の反応をふまえ、各国毎にきめ細かく働きかけを行っていく。
- ② 国内機運醸成
・ 地元大阪・関西から機運醸成の取組みを率先して進め、ひいては日本全体での機運を高めていく。
2018年1月～3月のBIE現地調査に向け、自治体、企業等と連携し、誘致委員会会員数の上積みや各自治体での決議をはじめとする国内機運醸成の取組みを展開する。
・ 各主体による自発的な取組みを基本とし、誘致委員会は各主体の取組みを促す環境づくりなど重点的に取り組む。
・ 万博のテーマである「いのち輝く未来社会」づくりの取組み等を共有することで、国内各界各層に万博の意義等の浸透を図るとともに、期待感の向上に取り組む。

18

4-2 海外誘致活動（①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR）

◆BIEへの立候補申請、総会の機会を捉え、BIE政府代表者、各国要人に対して万博誘致を働きかけ

〔B I Eへの立候補申請・B I E総会〕

（i）立候補申請（4/24）の機会を捉えたプロモーション活動
プロモーション団：（国）木寺 駐仏大使、住田 経済産業省商務流通保安審議官
（誘致委員会）榊原 会長、松井 会長代行 他

（ii）総会（6/14）の機会を捉えたプロモーション活動
プロモーション団：（国）木寺 駐仏大使、住田 経済産業省商務流通保安審議官
（誘致委員会）榊原 会長、松井 会長代行、松本 会長代行、吉村 副会長 他

- 各国在仏大使等に対する万博誘致の働きかけ（約30か国）
- 総会でのプレゼンテーションの実施
・ 誘致を目指す2025日本万国博覧会のコンセプトをPR（榊原会長）
・ 開催候補地である大阪・関西の魅力やポテンシャルをPR（松井会長代行）



19

4-2 海外誘致活動（①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR）

◆2017年カザフスタン アスタナで開催の国際博覧会（認定博）の開会式、ジャパンデー、開会式等においてBIE政府代表者、各国要人に対して万博誘致を働きかけ

【アスタナ国際博覧会】

- （i）開会式（6/9）及び日本館開館式（6/10）等におけるプロモーション活動
プロモーション団：（国）川端 駐カザフスタン大使、小瀬 経済産業省大臣官房審議官
（誘致委員会）吉村 副会長、尾崎 副会長 他
- 開会式において、プロモーション団から各国要人に対し、万博誘致を働きかけ
 - 日本館開館式典において、万博誘致をPR
 - 開会式に出席した10数か国のBIE政府代表者等に対し、万博誘致を働きかけ



20

4-2 海外誘致活動（①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR）

【アスタナ国際博覧会】（ii）カリブデー（7/14）等におけるプロモーション活動

- プロモーション団：（国）川端 駐カザフスタン大使（自治体）新井 大阪府副知事
（誘致委員会）鈴木 副会長、樺（いちのさ） 事務総長 他
- 7月14日のアスタナ博「カリブデー」にあわせ、政府要人等が会場を訪れる機会を捉えた、万博誘致の働きかけ
 - 約10か国のバリオンを訪問し、万博誘致を働きかけ



21

4-2 海外誘致活動 (①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR)

【アスタナ国際博覧会】(iii) ジャパンデー(7/22)等におけるプロモーション活動

- プロモーション団：(国) 世耕 経済産業大臣、川端 駐カザフスタン大使
(誘致委員会) 松井 会長代行、松本 会長代行 他
- 7月22日のアスタナ博「ジャパンデー」の開会式典、大阪パレード及びレセプションに出席し、万博誘致をPR
 - 約10か国のパビリオンを訪問し、万博誘致を働きかけ
 - カザフスタン政府を表敬訪問



22

4-2 海外誘致活動 (①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR)

【アスタナ国際博覧会】(iv) 閉会式(9/10)におけるプロモーション活動

- プロモーション団：(国) 西銘 経済産業副大臣、川端 駐カザフスタン大使 他
(自治体) 新井 大阪府副知事
(経済界) 西村 大阪商工会議所副会頭
植松 関西経済連合会国際委員会副委員長
(誘致委員会) 榎 事務総長
- 9月10日アスタナ博閉会式典の機会を捉え、万博誘致をPR
 - 約10か国のパビリオンを訪問、万博誘致を働きかけ



23

4-2 海外誘致活動 (①BIE訪問、アスタナ国際博覧会・国際会議等におけるPR)

◆TICAD(アフリカ開発会議)において、国、経済界、誘致委員会が一体となって、二か国会議、イベントを通じて働きかけ

【TICAD(アフリカ開発会議 8/24)】

- プロモーション団：(国) 河野 外務大臣、堀井 外務事務官、池上 外務省経済局政策課長
(経済界) 鴻池 大阪商工会議所常議員(ワ別協副会長)、遠藤 住友電装執行役員
(誘致委員会) 吉村 副会長 他
- 二か国会談における働きかけ、TICAD関係会合サイドイベントで吉村副会長がプレゼンテーション

【南アフリカにおける誘致活動(8/25)】

- プロモーション団：(国) 池上 外務省経済局政策課長
(経済界) 鴻池 大阪商工会議所常議員(ワ別協副会長)、遠藤 住友電装執行役員
(誘致委員会) 吉村 副会長
- 政府関係者、関係国の大使等に万博誘致を働きかけ



24

4-2 海外誘致活動 (② 他国の政府要人の訪日機会を捉えたPR)

◆ASEAN経済大臣会合など、他国政府要人の訪日機会を捉えて、万博誘致を働きかけ

【ASEAN経済大臣会合(歓迎昼食会 4/8)】

- 出席者：(国) 世耕 経済産業大臣 (経済界) 西村 大阪商工会議所副会頭
(誘致委員会) 松井 会長代行、森 会長代行、吉村 副会長、塚山 副会長 他
- 歓迎昼食会において、アジアで開催する万博の意義など、万博誘致を働きかけ



25

4-2 海外誘致活動 (③ その他主体での取組み)

◆政府、国会議員連盟等の活動に加えて、自治体等による友好交流都市や、地方議会による友好議員連盟等の議員外交により、万博誘致を推進

【その他主体での取組み】

- 政府：様々な外交ルートを活用した各国への万博誘致の働きかけ
 - ・政務レベルでの各国政府要人への支持要請や、在外公館から先方政府への働きかけ
 - ・各国BIE政府代表への働きかけ
 - ・在京大使館への働きかけ(外務省幹部から在日大使等への働きかけ)
 - ・日本に招聘した海外記者への万博開催テーマの意義等を説明・PR
- 国会議員連盟等：二国間友好議連等をはじめ議員外交の活用
 - ・国会議員の外遊時の万博誘致の働きかけ
 - ・二国間議連等による大使館に対する万博誘致の働きかけ(6～9月)
- 自治体等：友好交流都市及び姉妹都市、ビジネスパートナー都市等へのプロモーション
 - ・駐日大使等の表敬訪問時の働きかけ
 - ・在関西領事館、国際交流関連協会への働きかけ
- 地方議会：大阪府議会友好議連をはじめとする議員外交の活用
 - ・海外からの表敬訪問時(上海人民代表大会常務委員会 など)
 - ・海外への友好訪問時(関西府県議会日中友好訪問団、自民党大阪府議団のカンボジア・イギリス・フランス訪問 など)

26

4-3 国内機運醸成 (①誘致委員会による取組)

◆2017年3月27日の誘致委員会発足後、誘致活動のベースとなる取組み(ロゴマークによるPR、会員等賛同者の募集、グッズ等の配布、イベント等を実施)

- ・誘致委員会発足式典(誘致アンバサダー「ダウンタウン」による情報発信:3/27)
- ・誘致委員会HPの開設(日英仏語対応:4/21)
- ・万博誘致ロゴマークの選定(6/7)、
- ・グッズの作成・配布・掲揚・販売(ピンバッジ、ポスター、チラシ、懸垂幕、のぼり、ポロシャツ等)
- ・誘致委員会会員等賛同者の募集：
 - ・小学生を対象とした万博絵画展の公募(7/6～9/30)
- ・誘致アンバサダーに、歌舞伎俳優の中村鴈治郎さん・片岡愛之助さんが就任(9/5)



27

4-3 国内機運醸成 (②大阪府万博誘致推進本部における取組み)

- ◆本年4月、知事を本部長とする「大阪府万博誘致推進本部」を設置機運醸成に取り組みとともに、万博のテーマを先取りしたビジョンの本年度策定などを推進
- ◆今月、推進本部において、誘致委員会の戦略を踏まえた大阪府の取組み方針を策定府の協力をあけて、機運醸成のための取組みを展開していくことを決定

*BIE現地調査(来年1～3月)に向けて、調査ルートなどを踏まえたシティレッシングなどにも取り組み、地元大阪の盛り上がりへと万博に向けた熱意をしっかりとアピールしていく。

【今後の大阪府としての取組み方針】

- 平成29年9月決定
- 府は本トシにおいて、誘致委員会の中核的な役割を果たし、地方の熱意や関係者を国内外に波及させる。そのため、府は、関西広域連合や市町村と連携しながら、関係府県の協力をあけて誘致活動を展開していく。
 - 今後、府は、各主体の取組みを促す環境づくりに取り組む誘致委員会と連携し、関係府県がそれぞれが得意とする分野で、様々な機会を通じて、自発的な取組みを展開していく。



大阪府万博誘致推進本部(平成29年4月設置)
「大阪府の万博(未来社会)をめざすビジョン」を本年度策定予定

今後の具体的な機運醸成の取組み

- 地元大阪における機運醸成に、創業工夫をこらして取組み、府民へアピールするとともに、関係団体へ働きかける。
- 万博のテーマである「いのち輝く未来社会」の取組み等を大阪府から発信することで、各界各層に万博の意義等の浸透を図るとともに、誘致に向けた機運を醸成する。
- 万博の意義の理解促進、万博に向けた取組みに参画を促すための活動
 - ・セミナー等の様々な機会を通じて、各界各層に万博の意義等を浸透
 - ・大阪府の万博(未来社会)をめざすビジョンの具体化
- BIEによる現地調査への対応
 - ・シティレッシング、他で万博誘致を推進(「万博機運醸成」の取組み)など
 - ・様々な手段により誘致機運を醸成(「万博機運醸成」の取組み)など

28

4-3 国内機運醸成 (③大阪府議会における誘致活動の展開)

- ◆「大阪府議会における万博誘致活動の指針」を策定(平成29年7月)
⇒大阪府議会では、大阪府、誘致委員会等との密接な連携と役割分担のもと、ネットワークを最大限に生かしながら、機運の醸成や関係国への働きかけなど、誘致実現に貢献できる活動を展開中

主な広報活動

- ◆ 高校生向け出前授業において「万博」の取組みについて紹介、意見交換の実施
- ◆ テレビ広報、府議会だより(広報紙)、ホームページ・SNSで、「万博誘致活動」の取組みを紹介
- ◆ ポスターで「万博」をPR(万博誘致ロゴを掲載) など



全国都道府県議会等への万博誘致実現に向けた支援の要請

- ◆ 全国都道府県議会連合会定例会で「『2025日本万国博覧会』の大阪・関西誘致に関する決議」が議決(平成29年7月25日)
- ◆ 関西広域連合議会において「2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致に関する決議」が議決(平成29年8月24日)
- ⇒13都道府県議長会議(平成29年1月26日)、近畿2府8県議長会議(平成29年8月30日)において、大阪府議会議長が、各府県議会における決議をはじめ、万博誘致実現に向けた支援を要請

29

4-3 国内機運醸成 (④万博誘致に向けた決議の広がり)

- ◆大阪府議会、大阪市会をはじめとする府内34市町村議会で、「2025年万博の大阪誘致に積極的に取り組む」旨を決議
- ◆関西広域連合、関西広域連合議会をはじめ、全国知事会、全国都道府県議長会などにおける決議もいただき、今後、大阪・関西から全国へと拡大に向けて取り組んでいく

大阪府・大阪市・市町村

- ・平成28年11月4日 大阪府議会 決議
＜府内市町村＞
- ・平成28年11月15日 大阪市会 決議
- ・平成29年5月9日 大阪府市長会 決議
5月16日 大阪府町村議長会決議
- ・平成29年3月30日～9月29日
堺市議会 他 32市町村議会決議
- ・平成29年10月2日 大阪府町村議長会

大阪府議会・34市町村議会で決議

関西広域連合

- ・平成28年9月22日 関西広域連合 決議
- ・平成28年9月24日 関西広域連合議会決議
- ・平成28年9月28日 和歌山県議会
- ・平成28年9月28日 福井県議会
- ・平成29年10月5日 神戸市会
- ・平成29年10月6日 徳島県議会
- ・平成29年10月11日 鳥取県議会
- ・平成29年10月20日 奈良県議会

自治体・議会の連合会等による決議

- 平成29年 5月18日 近畿市長会
- 7月11日 指定都市市長会
- 7月25日 全国都道府県議長会
- 7月28日 全国知事会
- 8月4日 兵庫県町村会
- 9月20日 近畿府県町村会

30

4-3 国内機運醸成 (⑤関西広域連合における取組)

- ◆平成28年9月、関西広域連合において、「2025年日本における国際博覧会（大阪開催）について」決議
- ◆本年4月、関西広域連合において、構成府県市、誘致委員会事務局、関西観光本部事務局で構成する「2025日本万国博覧会誘致対策会議」を設置
- ◆構成府県市の広報媒体を用いたPRなど、国内機運醸成の活動を実施中
- ◆8月、関西広域連合議会が、2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致に関する決議を議決

主な国内機運醸成の活動

- (1) 万博誘致ロゴマークを活用したPR
 - 万博のテーマに関連した集客イベント等でのPR
 - 庁舎等でのチラシ・パンフの配布、ポスター掲出
- (2) 構成府県市の広報誌等の媒体を用いた周知
 - 構成府県市のPRツールの活用
 - 刊行物等へのロゴマーク掲載など
- (3) 構成府県市における誘致委員会員拡大への協力呼びかけ
 - 構成府県市内の市町村、商工会連合会、地元商工会議所等の経済団体を中心に参加を呼びかけ
- (4) 構成府県市議会における万博誘致応援決議への協力要請

など

31

4-3 国内機運醸成 (⑥全国都道府県への協力要請・首都圏におけるプロモーション活動)

- ◆本年4月開催の2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟総会（全国都道府県東京事務所長出席）、6月開催の全国東京事務所長総会等において、全国都道府県がもつ広報ツールやイベント等を活用した国内機運醸成の取組みを要請
- ◆7月、全国知事会議において、「2025年国際博覧会の誘致に関する決議」採択
- ◆8月、知事会決議を受けて、全都道府県へ誘致委員会参画及び協力を依頼

主な国内機運醸成の活動

全国的な機運醸成に先駆けて、首都圏における万博誘致PRを実施

- (1) 近畿10府県と在阪鉄道6社が共催する「関西魅力発信イベント」において、万博誘致を強力にPR（9月23日）
このほか、東京スカイツリーにおける情報発信（1～3月）などを予定
- (2) 各都道府県実施の首都圏イベントにおける情報発信 など

32

4-3 国内機運醸成 (⑦民間等における取組)

- ◆民間等において、自社ツールを活用した鉄道駅等におけるPRや、民間主体のイベント等におけるPRが展開。

＜自社ツールを活用したPR＞

銀行ATM画面での誘致PR、主要駅・空港でのPRポスター等掲示、工事団体を活用した誘致PRイベント等でのPR
天神祭、梅田ゆかた祭り、道頓堀盆踊り大会、甲子園球場等でのビジョンでのPR動画放映
2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟総会及び万博誘致セミナー



33

4-3 国内機運醸成 (⑧学生による取組)

- ◆大学生を中心とした、ヘルスケアの課題に取り組む「inochi（いのち）学生プロジェクト」による「2025大阪万国博覧会100の提案」の発表や、若者による万博検討会議の「WAKAZO（ワカゾー）」など、万博に賛同する学生による自主的な取組みが進んでいる。



2016.12 inochi学生プロジェクトからの提案



2017.8 WAKAZOの取組み

34

4-3 国内機運醸成 【参考】これまでの具体的取組み例

～大阪府・府内市町村～



35

4-3 国内機運醸成 【参考】これまでの具体的取組み例



36

4-3 国内機運醸成 【参考】これまでの具体的取組み例

～大阪市～



37

4-3 国内機運醸成【参考】これまでの具体的取組み例

～大阪市24区役所～



38

4-3 国内機運醸成【参考】これまでの具体的取組み例

～大阪市×民間～



(協力：梅田地区エリアマネジメント実践連絡会)



(協力：いっとこミ実行委員会)



(協力：取神電気鉄道株式会社)

39

5 誘致に向けた課題と取組みの方向性

誘致活動の現時点の到達点

■海外誘致活動

- ⇒BIE訪問、アスタナ万博・国際会議の場、在京大使館訪問など各国に対しプロモーション実施
- ⇒大阪・関西・日本における万博開催の意義、大阪・関西の魅力を知り・PR
- ・BIE訪問：総会でのプレゼンテーション、各国駐日大使等に対する働きかけ(約30カ国)
- ・アスタナ国際博覧会：各国のパビリオン等を訪問し、誘致を働きかけ
- ・TICADアフリカ開発会議(アフリカ51カ国が参加)：プレゼンテーション実施、二国間会談における働きかけ
- ・全在京大使館への訪問 等

■国内機運醸成

①誘致委員会会員数

	委員会発足時 (3月27日)	現状 (10月13日時点)
個人会員	27名	114,753名
企業・団体等会員	115社	3,649社
内)スポンサー企業等	44社	98社

②自治体の決議(10月15日現在)

- ・大阪府議会・市町村議会：35団体
- ・関西広域連合構成団体：8団体
- ・自治体・議会の連合会等：6団体 計 49団体

40

5 誘致に向けた課題と取組みの方向性

誘致に向けた課題と取組みの方向性

① 海外誘致活動

- BIE加盟国の少なくとも過半数の支持を獲得するため、引き続き、全方位的な誘致活動を展開する必要。
- 各国の反応をふまえて、国、自治体、経済界等の様々なルートを活用した働きかけを行う。

② 国内機運醸成

- 誘致を勝ち取る圧倒的な機運醸成を示すためには、さらなる取組みが必要。企業・自治体や団体などあらゆる主体による一層の取組みを促進する。
- 首都圏はじめ内外への知名度向上のため、情報発信力のある著名人の協力を得たPR活動を展開する。

③ BIE現地調査の受け入れ(2018年1～3月予定)

- 大阪・関西が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする万博開催に相応しいポテンシャルを有する都市であることをアピール。
- 機運の高まりを調査団が体感できるよう、受け入れ準備をさらに強力に展開する。
- 賛同者数、自治体決議などの数を増やし、これを数値で明示するとともに、あらゆる主体によるシビリティトレーニングなどを通じ、まち全体に機運醸成を浸透させる。

41



資料2

ビッド・ドシエについて(概要)



2017年9月
経済産業省 博覧会推進室

ビッド・ドシエとは

◆ビッド・ドシエとは

- 立候補国がBIE事務局に提出する正式な立候補申請文書。
- BIE事務局は、開催候補地への調査団訪問を経て、評価レポートを作成。

◆主な目的

- BIEから、開催計画の実現可能性について、技術的審査を受けるための書類であり、調査ミッションの際の基礎資料となる。 ※BIE加盟各国政府にも送付される。

◆今後の主なスケジュール

2017年9月28日	ビッド・ドシエ提出期限
11月15日	BIE総会(第2回プレゼン)
2018年1～3月頃	BIE調査団来日・審査(1週間程度)
	※立候補国を順次訪問。訪問順は未定。
6月	BIE総会(第3回プレゼン)
11月	BIE総会(最終プレゼン後、投票により開催地決定)

◆記載内容(BIEより指定された14項目)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 名称、テーマ、および開催スケジュール | 8. 立地条件 |
| 2. 開催意義および期待される効果 | 9. 会場構想 |
| 3. 国内の支持 | 10. パビリオン等の配分 |
| 4. テーマとその目的 | 11. 想定される総入場者数とその客層 |
| 5. テーマの展開 | 12. 来場者と参加者のための宿泊計画 |
| 6. 組織および優遇措置等 | 13. 資金計画 |
| 7. コミュニケーション戦略 | 14. 参加費用の見込み |

1. テーマ及びコンセプト

テーマ及びコンセプト

テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン “Designing Future Society for Our Lives”
サブテーマ：①多様で心身ともに健康な生き方 ②持続可能な社会・経済システム

- ・「人」(human lives) にフォーカス。
- ・個々人がポテンシャルを発揮できる生き方と、それを支える社会の在り方を議論。
- ・国連が掲げる2030年のSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献。
- ・日本は官民挙げて「Society5.0」を推進。IoT、AI等の先端技術をフル活用して課題解決。

コンセプト：未来社会の実験場 “People’s Living Lab”

- ・展示を見るだけでなく、世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。
- ・開催前から、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げ。

開催地：大阪、関西の魅力

- ・ライフサイエンス分野をはじめとした最先端技術と、それを支える様々な企業（中小企業含む）の集積。
- ・歴史、伝統、豊かな文化。旺盛なチャレンジ精神。

3

2. 会場計画の概要

鳥瞰図

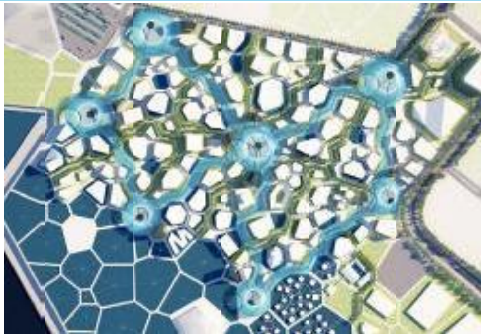
- 会場は、大阪のウォーターフロントに位置する人工島・夢洲（ゆめしま）。
- 会場面積は、155ヘクタール。（※会場中心部にパビリオン等、南側水面に水上施設等、西側緑地にアウトドア施設等をそれぞれ整備。）



5

非中心、離散型のパビリオン配置

- ボロノイパターン（※）を用いた、あえて中心をつくらない離散型の会場デザイン。個と個の関係、多様性の中から生まれる調和と共創によって形成される未来社会を表現。
- 2つのエントランスと5つの大広場をつなぐようにメイン通りを設置し、その上には大屋根を設置。

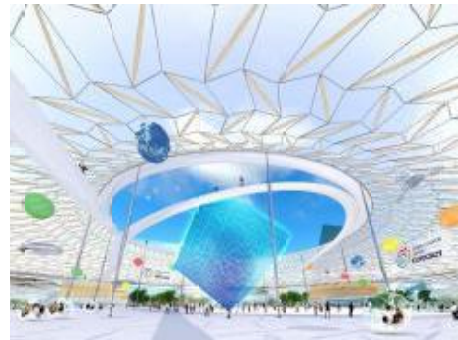


（※）ボロノイパターン：自然界に存在する基本的で反復的な幾何学パターン。有機的なつながりと成長を象徴。

6

大広場：「空」（くう）

- 会場内の5カ所に「空」（くう）と呼ばれる大広場を設置。
- A R（拡張現実）・MR（複合現実）技術を活用した展示やイベントなどを行い、来場者の交流の場とする。



7

来場者にやさしい会場

- メイン通りの間をつなぐ通りには水路や緑の並木を整備。
- 暑さ対策も行い、来場者が快適に過ごせる空間を提供。



8

鳥瞰図（南西側）

- 南西側を望む夕景の会場鳥瞰図。
- 淡路島、明石海峡大橋を背景に、美しい景観が広がる。



9

2021年1月8日 2025年大阪・関西万博推進特別委員会 2025年に開催される国際博覧会（大阪・関西万博）の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（2020年12月21日閣議決定） <概要> 2020年12月 内閣官房国際博覧会推進本部事務局	基本方針（全体構成） I. はじめに - 国際博覧会開催の意義 - 日本で開催された国際博覧会の成果 - 大阪・関西万博の意義 - ポストコロナの経済・社会への転換 - 運営の成功に向けた体制 - 政府のこれまでの取組 - 基本方針の策定 II. 基本的な考え方 「いのち輝く未来社会のデザイン」の具体化 - メインテーマ：いのち輝く未来社会のデザイン - サブテーマ：Saving Lives（いのちを救う） - Empowering Lives（いのち力を与える） - Connecting Lives（いのちをつなぐ） 「未来社会の実現」の整備 - カーボンニュートラルを目指す上での大阪・関西万博の形 - デジタル化等を駆使した「新たな万博の形」の提示 - SDGsの達成とその先の社会ビジョン（「SDGs+ beyond」）の構築 - 次世代に誇れる遺産の創出と継承・発展 - 大阪・関西万博を通じた日本の挑戦 - 大阪・関西万博を契機とした多様な文化、価値観の重なり合いの創出 - 復興への後押し、日本全体の象徴 - 国際社会の中で輝く日本 - 政府・民間となった取組と関係機関との密接な連携の推進 - 明確なガバナンスの確立と施策の効率的・効果的な実行 III. 大阪・関西万博の円滑な準備及び運営 - 各国・国際機関の参加・出展の確保 - セキュリティや安全安心の確保 - 来場者や運営関係者の安全・円滑な輸送 - 会場の周辺インフラの整備等 - ユニバーサルデザインの考えに基づいた整備 - 環境問題への対応 - ICTシステムの構築及び活用 - 外国人来訪者の受入れのための整備 - 大阪・関西万博の機運醸成 - その他
---	--

[illegible]

図 大塚・関西万博の事業構成

「いのち輝く未来社会のデザイン」
(Designing Future Society for Our Lives)

[illegible]

大原・飯沼両博士のテーマである「いのち」を考える機として、我々は、「Saving Lives(いのちを救う)」、「Empowering Lives(いのちを力づける)」、「Connecting Lives(いのちをつなぐ)」という3つのサブテーマを設定する。

なお、サブテーマにおける「Lives」は「生活(daily life)」や「人生(life as a whole)」の意味だけではなく、むけあひ(いのち・事(行為))に意味をもたせる意である。

Saving Lives (いのちを救う)

「Saving Lives(いのちを救う)」は、「いのち」を守る、救うことに焦点を当てたものである。「いのちを救う」から想定される具体的なキープワードとしては、例えば、公衆衛生の改善による感染症対策、防災・減災の取組による安全の確保、自然との共生などが挙げられる。

Empowering Lives (いのちに力を与える)

「Empowering Lives(いのちの力を与える)」は、「生活」を豊かにする、可能性を広げることに焦点を当てたものである。「いのちの力を与える」が想定されるのは身体的なキープードとしては、例えば、情報通信技術(ICT)を活用した質の高い遠隔医療の提供、スポーツや食生活を基にした健康管理の提供、AIやロボティクスの活用による人間の労働負担の軽減などである。

Connecting Lives (いのちをつなぐ)

「Connecting Lives(いのちをつなぐ)」は、「一人一人がつながり、コミュニティを形成する、社会を豊かにすること」を目的とした活動である。「いのちをつなぐ」から着想される具体的な「プロジェクト」としては、例えば、**「一人一人の力、CTによるコミュニケーションの進化、子や社会の在り方まで分けられる、プブリックの力」**

コンセプト

People's Living Lab (未来社会の実験場)

[illegible]

催事施設

会期中に行われる様々な催事に対応できるよう、パビリオンワールドに催事施設、メッセ、小型のステージ、庭園、グリーンワールドに屋外イベント広場、ベストプラクティスエリア、ギャラリーを設置する。



エントランス広場

会場の東西に地下鉄赤羽駅(東)、文通2ミナル(西)からアクセス可能なエントランス広場を設置する。エントランス広場には、入場券対応窓口、セキュリティチェック及び入場ゲートを配置するとともに、計画来場者数約28.5万人/日におけるゲート等での待ち行列に対応できる安全性の確保に努める。

② 1月当たりの乗場乗客数の予測において、前年6月の賃金調書のうちを上げ10%の平均乗場乗客数(不調整)

065

パビリオンワールドの主動線(メインストリート)

ハビリオン[®]ワールドのハビリオン等各施設は、ハビリオン[®]パド内のリング状のメインストリートと、メインストリートにつながるように放射状に配置する広場面にしている。このメインストリートが、ハビリオン[®]ワールドの主軸線となり、乗客はこの軸線沿いから、ハビリオン等の各施設にアクセスすることができる。

この主動根(メインストリット)の上部には大屋根(リング)を設置する。この大屋根(リング)は来場者を西や日陰から守る機能を持ち、人々を導くナビゲーションの役割も果たす。大屋根(リング)の上に空中歩道が通じ、パピオン群が立ち並び会場を俯瞰する視点を提供し、場所によっては斜道や段々、また海を望む傾斜歩道を用意して人々が思い思いに過ごすことができる居場所をデザインする。

静けさの森

万博会場内の広場の中にあつて、ひと々をわがで落ち着ける場所として静けさの森を検討する。木々によって日影から守られ、ゆっくりと休憩することが出来るこの静けさの森は、主会館(メインストリート)から離れた、表裏とところを配置され、主会館から4つの異なるルートでアクセスすることが出来る。森に囲んで常設施設を配置し、またテーマのいくつかが森へと開く構成をとることもできる。

ウォーターワールド

ウェーター・ハードは海の二の指会場を象徴する場所である。堤防によって作られた内海をさらに大屋根(リフト)によって取り囲むことで「海の広場」を作り出す。この三日月夜の水辺空間は水上イベントを節制した観光客での様々な活動に供される。内海に張り出した大屋根(リフト)の上は観望歩道であり、「海の広場」や会場全体を見下ろせる場所であり、南西方向に広がる瀬戸内の海を見渡せる場所ともなる。

063

パピリオン タイプA (敷地渡し方式)

主催者が参加者に義務を課し、その中で自由に形やデザインを構成するバリオンである。参加者は大阪・西万福寺終了後バリオンの全体へ動きを行い、引き渡し時と同様の状態に責任がある。汚水、雨水排水、水、電気、通信等のユーティリティ(供給管)については、敷地境界までは主催者が設置する。ユーティリティへ接続と敷地内の整備は参加者の責任とする。

パビリオン タイプB(建物渡し方式)

主催者が建築し、参加者のパビリオンとして提供する。参加者はパビリオンを借り受け、コンテンツを自由に決し、自ら展示設備や内容、展示空間を作り上げる。参加者はパビリオンの内装や外装をデザインすることができ、パビリオンには汚水、雨水排水、上水、電気、通信等のユーティリティを完備する。参加者の設備をユーティリティへ接続することは参加者の責任とする。

パビリオン タイプC (共同館方式)

参加者はノビリオン内の一部区画を借り受け、自ら展示設備や内装を行って展示空間を作り上げる。共同利用区画を自由に区切ることができるような設計とする。ノビリオンには、汚水、雨水排水、上水、電気、通信等のユーティリティを完備する。参加者の設備をユーティリティへ接続することは参加者の責任とする。

061

パビリオンワールドのゾーニング

バザリオンワールドは、3つのサブテーマでゾーニングされる。



※ 具体的なセグメント区分については参加国の要請を踏まえ、今後検討する。

059

5.3 施設計画

パセリオンワールドの主要施設は、以下のとおりとする。



060 | 第5章 会場計画

表 主な施設の新設(想定)

製品名	数量(個/月)	販売価格(円)
パレシオン タイプA (白紙保護)	92,500	(単位なし)
パレシオン タイプB (白紙保護)	17,500	11,700
パレシオン タイプC (7色印刷)	16,700	11,400
業務用紙 (50枚)	7,100	4,800
テーマ紙(白紙保護)	13,300	(未定)
両面・ペレシオン (白紙保護)	31,500	(単位なし)
日本画	12,900	(単位なし)
政治新聞 (大衆新聞など)	12,900	(単位なし)
特許製品・メモキ・ギター	24,100	14,400
音楽集・楽譜	9,200	(未定)
音楽集楽譜	27,700	26,600
音楽集楽譜等	74,700	65,700

※2020年12月現在の予定。区画数及び面積等は変更となる可能性があります。

原則、施設については、景観を保ち、より快適な空間づくりをおこなうため、建ぺい率70%以内とし、敷地境界からのセットバック等の詳細を建築ガイドラインで提示する。また、高さ制限(12m以下程度)を検討する。

066 | 第5章 会場計画

グリーンワールド

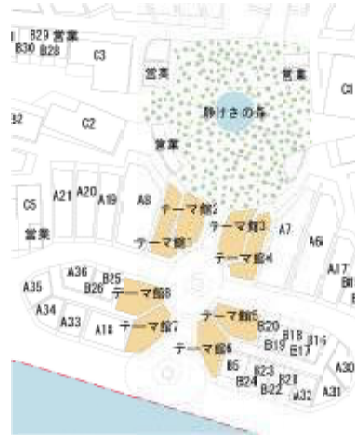
「グリニウ・ールド」は、密度の高い「セリオング・ールド」と対照的に、開放的で緑あふれる空間とし、万博体験の幅を広げる役割を持つ。屋外イベント広場や、ヘス・プラクティスエリア、先進的なモビリティ体験するエリア等が配置される。西向きに瀬戸内の海を直接望むことができる場所でもあり、レストラン、観覧施設及びキャパリーを適切に配置することによって海の上の万博会場を遊覧することができる。



064 | 第5章 会場計画

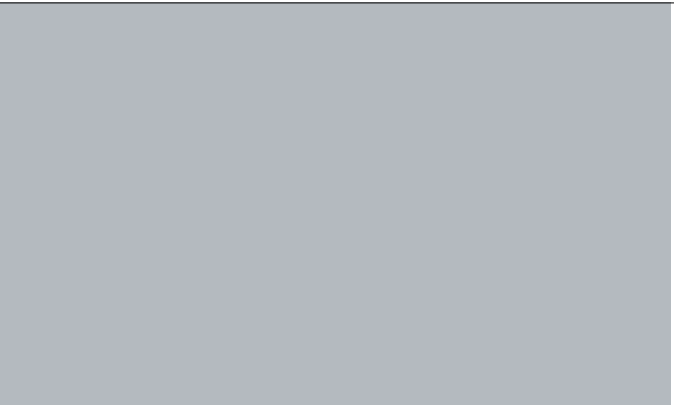
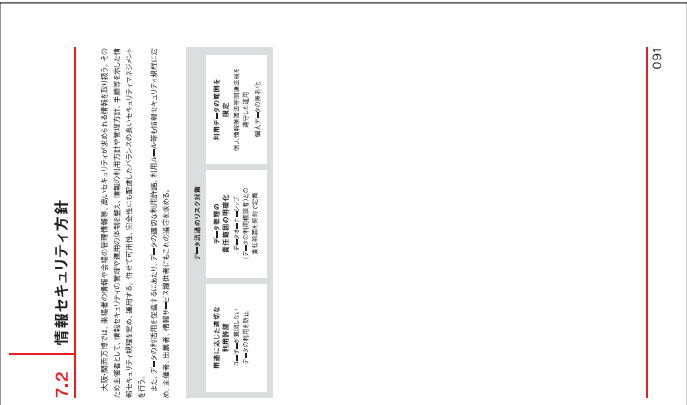
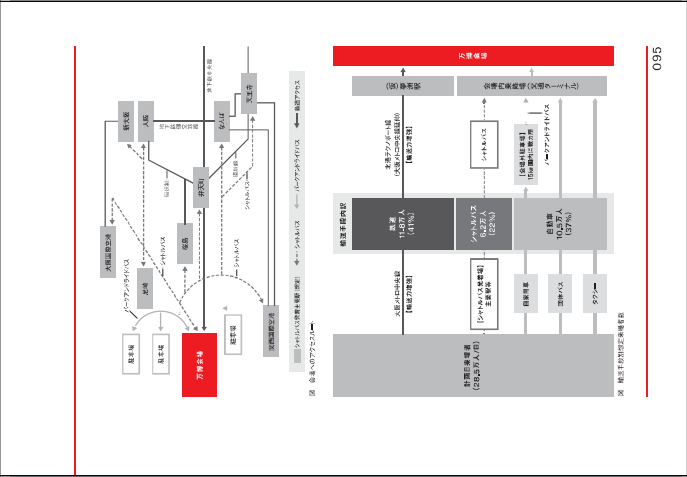
テーマ館(8つのテーマ事業)

テーマ展示のナビゲーションは、ナビゲーションカード直前の水廊から中央の「静けさの森」を結ぶラインの両側に向い合って配置される。11の「も」をめぐる8つのテーマ展示が、それぞれ独立しながらも直横し、共着し合って大きな「も」を築くことができるように、直接は配置としている。水廊から静けさの森までナビゲーションの置かれる環境と展示が共着して幅の広い体験を生み出す。



※2020年度は例年との予定、収支状況及び当稼額は変更となる可能性があります。

062 | 第5章 会場計画



111

11.2 推進体制

[illegible]

11.3 スケジュール

[illegible]

11.1 リスク管理

万博の開催は、大規模な会場建設、世界各国の参加招請、6ヵ月の会場運営等、多種多様な事業が密集し、関係するリスクに左右される事業である。そのため、万博に与える幅広い事業領域には多様なリスクも潜んでおり、それらのリスクに十分に対応している。

これに加え、約2,620万人の来場者や各国からの参加者が安全を確保し、安心して会場である万博を享受するため、大阪国際万博の事業推進においては、リスクマネジメントの考えに基づき、早期からリスクを洗い出し、その顕在化の抑制に取り組んでいる。

また、自然災害等のリスクの発生し、万博事業の推進の妨げとなるような自然災害等の発生に備え、災害発生時の安全を確保し、災害を最小限に留めるとする万博独自の危機管理体制に取り組んでいる。

会期前の事業リスク管理

博覧会協会内にリスク管理の実施体制を設け、予見されるリスクを網羅的に洗い出す。管理対象とするリスク、危機につながる重大なリスクを明確にし、関連する外部機関と連携しながら、開催まで継続的にリスクの予兆を捉え、リスクの顕在化を抑制する対策を講じる。

会期中の事業リスク管理

会期中の会務運営管理に関わる博覧会協会内組織と業務委託先機関を含めたリスク管理の実施体制を整備し、会期中のリスクの予防把握と顕在化防止に努める。

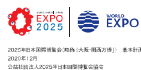
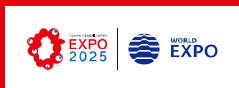
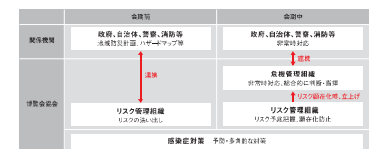
並行して、事故等の発生時の連絡・報告・判断を円滑に行う仕組みを整備することで、迅速な対応を図る。

リスク顕在化時への対応(危機管理)

自然災害やテロ(サイバーテロを含む)等の重大なリスクが顕在し、万博事業の遂行に危機的事態が発生した場合に備え、そのような非常時に対応を総合的に判断・指揮できる体制の整備を進めていく。国家的・国際的事業の存続に関わる状況にも対応するため、博覧会協会、政府、地方自治体、関係機関、民間企業等が連携する実行性の高い体制を整備する。

感染症対策

感染症対策については、2021年に開催される2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会、ドバイワールドトレードセンターでの感染症対策を参考に必要な対策を講じる。また、感染症対策検討会を設置し、会期前から閉会までその時々に応じた多角的な感染症対策について、専門家の意見を踏まえ必要な検討を行う。



大阪・関西万博の会場建設費について

政策企画部万博協力室

会場建設費（600億円増額の内訳）

① 来場者の快適性・安全性・利便性の向上のための施設

【約320億円】

- ・暑さ対策のドライミスト、単道トイレ様の整備
- ・ゲート待ち来場者の雨除け、日除けのため入場ゲート屋根
- ・受変電設備や情報通信設備、ポンプ設備の上屋
- ・グリーンワールドの照明設備
- ・会場内のサービス施設等の面積等の見直し
- ・ウォーターワールドの水質管理

② 参加国、事業者の多様な参加を促進するための施設
【約110億円】

- ・飲食、物販事業者の参加を促進するためのレストランやフードコート、物販施設
- ・中小企業などの参加機会を拡大するためのメッセ施設
- ・迎賓館に隣接する日本庭園

③ 大屋根の整備 【約170億円】

・雨除け・日除け機能及び来場者の主動線となる大屋根の設計変更

	従前 (1,250億円)	見直し後 (1,850億円)
施設整備費 (パビリオン、催事施設、天 居涼などの建築費用)	700億円	1,180億円
基盤インフラ整備費 (電力、ガス、上水、 下水、雨水排水、通信などの施設整備費用)	550億円	670億円

[illegible]

資料1

令和3年8月23日

大阪パビリオン出展基本計画の検討状況について

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会事務局

1

目次

・大阪・関西万博の開催概要	P4
・出展場所（予定）について	P5
・基本コンセプト・めざすもの	P6
・出展基本計画の推進体制について	P8
・空間構成イメージ	P9
・外観イメージ	P10
・展示構成イメージ	P11
・レガシーについて	P15
・建物鳥瞰イメージ	P16
・建物配置図案	P17
・建築スケジュール	P18
・建設・運営資金について	P19
・全体スケジュール	P20

3

大阪・関西万博の開催概要（2025年日本国際博覧会基本計画より）

- 名称
2025年日本国際博覧会 /（略称「大阪・関西万博」）
- 開催期間 2025年4月13日（日曜日）～ 10月13日（月曜日） 184日間
- 開催場所 夢洲（大阪市臨海部）
- 来場者数（想定） 約2,820万人



図説：2025年日本国際博覧会協会

テーマ いのち輝く未来社会のデザイン
「Designing Future Society for Our Lives」

サブテーマ ◆Saving Lives（いのちを救う）
◆Empowering Lives（いのちに力を与える）
◆Connecting Lives（いのちをつなぐ）

コンセプト People's Living Lab（未来社会の実験場）

4

大阪パビリオンの出展場所（予定）について（2025年日本国際博覧会基本計画より）



【参考】2025年大阪・関西万博におけるパビリオン
①公式参加パビリオン
（世界各国の参加国や国際機関が設置）
②テーマ館（博覧会協会が設置）
③日本館（国が設置）
④自治体館（地方自治体が設置）※大阪パビリオン
⑤民間パビリオン（企業・団体が設置）

新駅「夢洲駅（仮称）」や、東側エントランス
近くの好立地に設置予定。
万博の成否にかかわる重要な位置を占める
パビリオン。

図説：2025年日本国際博覧会協会

5

大阪パビリオンの基本コンセプト・めざすもの（2025年大阪・関西万博出展参加基本構想より）

1. 出展参加でめざすもの

- ▶ オール大阪の知恵とアイデアを結集し、「いのち」「健康」の観点から未来社会の新たな価値を創造するとともに、大阪の活力、魅力を世界の人々に伝えていく
- ▶ 世界の先頭にとってSDGsの達成に貢献するため、「SDGs 先進都市」の姿を明確にし、SDGs達成目標の2030年以降を見据えた取組みを世界に発信する

世界に貢献する大阪の姿を示す
▶ 生活の質（QOL）を向上させる展示
▶ SDGs達成に貢献する姿を示す
▶ 未来社会のモデルを提案

大阪のパワーを世界に発信
▶ 世界中からのアクセスを実現
▶ 大阪の魅力を世界に発信

2. 出展参加の主体

～ 産学官民の力を結集し、オール大阪での推進体制を構築 ～



3. 出展参加のテーマ

【テーマに込めた意味】

“人”は生まれ変わる”

すべての人が自分らしい生き方を改めて見つめ直すことで、自分自身の価値観や生きがいの発見・再認識、自己実現への意欲・意図の発露を促し、新たな自分への「生まれ変わり」に貢献する取組みを展開する

※新たな一歩も踏み出す*

一人ひとりの意欲・意図の発露が具体的な行動変容へとつながり、より良い生活環境、暮らしやすい社会づくりに貢献し、「いのち輝く未来社会」に新たな一歩を踏み出すきっかけとなる

REBORN（リボーン）

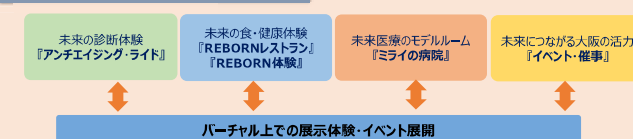
6

大阪パビリオンの基本コンセプト・めざすもの

4. 大阪パビリオンのコンテンツ等の基本的考え方

- ▶ 出展参加テーマ「REBORN」のもと、「健康」という観点から、大阪の強みを活かして、ワクワクしながら新しい未来が感じられる展示や催事を実現
- ◆最先端の医療技術やライフサイエンス産業が取り出す近未来への期待を高める
- ◆食や文化、観光などによる交流を促進する場とする

5. パビリオンの基本構成イメージ



バーチャル上での展示体験・イベント展開

6. レガシー

一時的イベントに終わらせることなくハード・ソフト両面でレガシーを残していくことを検討

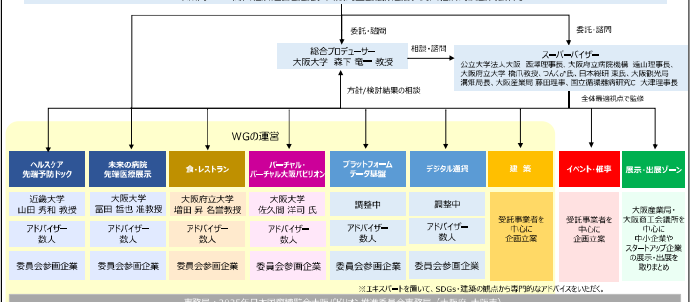
2030年以降の『大阪の成長・経済発展』や『いのち輝く幸せな暮らし』の実現に向けて貢献

7

大阪パビリオン出展基本計画の推進体制について

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会（2021.2.16～）

- 会長 大阪府知事
- 会長代行 大阪市長
- 顧問 関西経済連合会会長 大阪商工会議所会頭 関西経済同友会代表幹事



※上表を補って、SDGs・健康の観点から専門的なアドバイザリーを設ける。

※上表を補って、SDGs・健康の観点から専門的なアドバイザリーを設ける。

※上表を補って、SDGs・健康の観点から専門的なアドバイザリーを設ける。

※上表を補って、SDGs・健康の観点から専門的なアドバイザリーを設ける。

※上表を補って、SDGs・健康の観点から専門的なアドバイザリーを設ける。

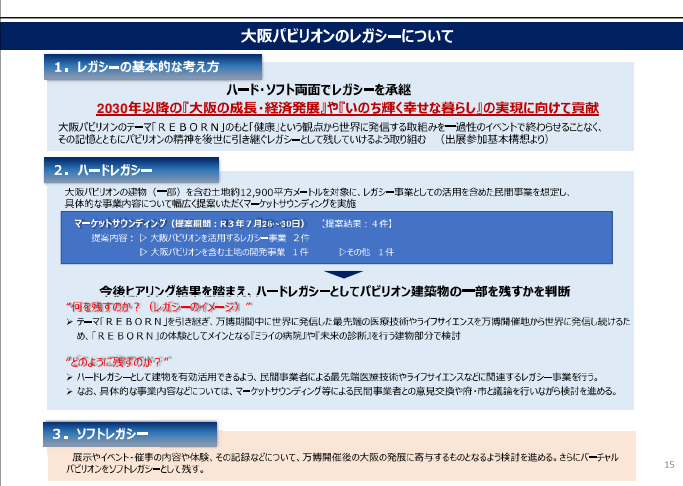
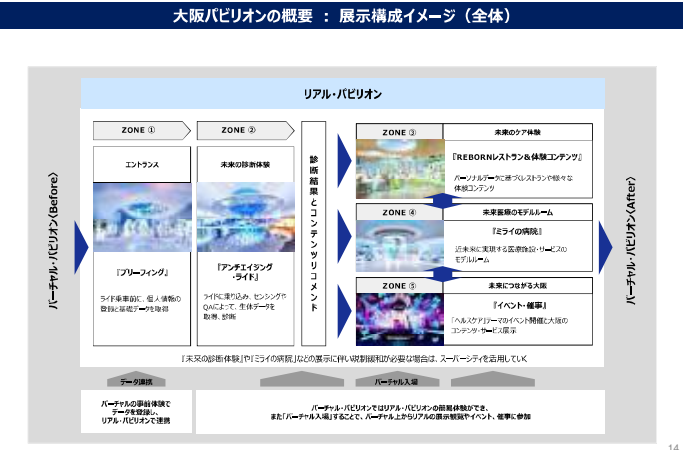
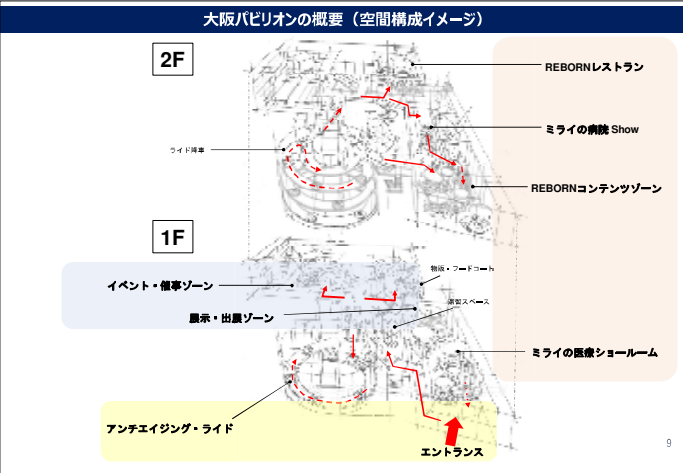
※上表を補って、SDGs・健康の観点から専門的なアドバイザリーを設ける。

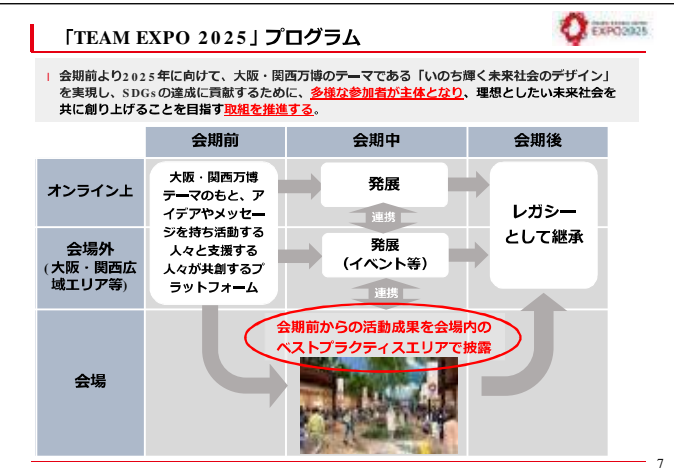
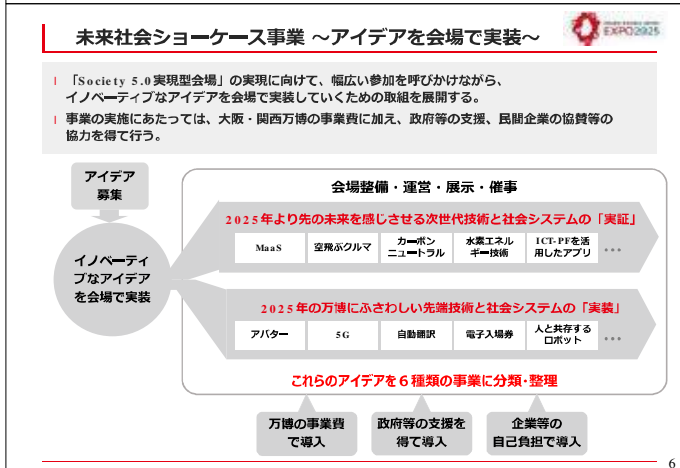
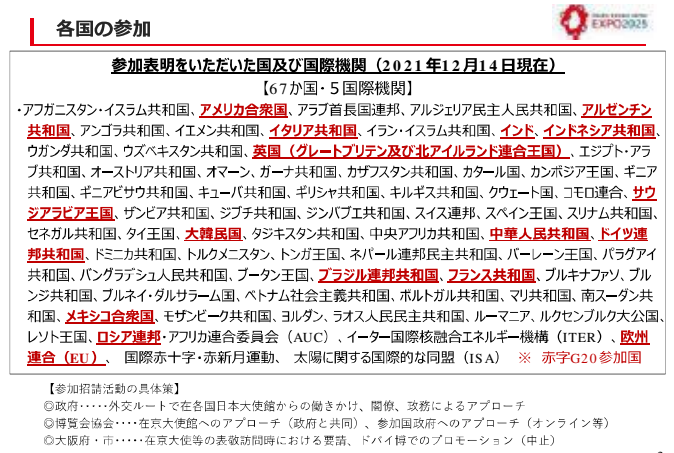
※上表を補って、SDGs・健康の観点から専門的なアドバイザリーを設ける。

※上表を補って、SDGs・健康の観点から専門的なアドバイザリーを設ける。

※上表を補って、SDGs・健康の観点から専門的なアドバイザリーを設ける。

※上表を補って、SDGs・健康の観点から専門的なアドバイザリーを設ける。





【配付資料6】 令和4年1月25日（火） 委員協議会

令和4年度学生支援の取組（万博推進）		資料1	
上段 令和4年度所管部長の所管 事務の概要 下段 令和4年度当初予算額		単位 百万円	
一 総合計		額	要
2020日本万国博覧会推進事業費	3,441 (3,169)	2025年日本万国博覧会費（大連・黒龍江省）の開催に当たり、大連市と大連市で共同開催する万博推進の事業費に要する経費のうち、文部省が負担する額	

[illegible][illegible][illegible][illegible]

資料 大阪・関西万博の成功に向けた機運醸成アクションプラン(ver1.0) 2022年4月 大阪府・大阪市 万博推進局	目次 1. 基本的な考え方(策定の趣旨) 2. 現状と課題 3. 今後の取組方向と目標 4. 大阪府・市の役割 5. 2022年度取組内容(万博の機運醸成の取組み) 6. 2022年度の実施スケジュール										
1. 基本的な考え方(策定の趣旨) 1 策定の趣旨 ○ 大阪・関西万博の開催まで3年を切った。今後、会場周辺のインフラ整備や交通アクセスの向上、機運醸成、大阪パビリオンの出展準備など、様々な取組みを急ピッチで進めていく必要。 ○ とりわけ、機運醸成については、今年7月には開催1000日前という節目のタイミングを迎えるとともに、来年度には入場券の発売販売を控えているなど、重点的に取り組んでいく局面に立っている。 ○ 言うまでもなく、万博の成功に向けては、全国的な認知度をさらに向上させ、一人でも多くの人に万博に対する興味や関心、期待感を高めていただくことが重要。 ○ そこで、開催3年前を切ったこのタイミングで、機運醸成の取組みを本格化させていくため、「大阪・関西万博の成功に向けた機運醸成アクションプラン(ver1.0)」をとりまとめることとする。これに基づき、博覧会協会をはじめ関係機関(都道府県、市町村、経済界等)との連携を深め、協力を得ながら、府内外をターゲットに万博機運を盛り上げていく。 ○ なお、機運醸成については、博覧会協会と一体的に進めていくが、現在、協会において「(仮称)広報・プロモーションマスタープラン」を策定中。今後、その内容を見極めながら、必要に応じて本プランに反映させていくことから、現時点では「ver1.0」としてとりまとめることとした。	2. 現状と課題 2 現状 ※大阪・関西万博の認知度等に関するアンケート調査(2021年9月 大阪府) →全国3000名(府内2000名、府外1000名)を対象としたインターネット調査結果 ● 「万博の認知度」は府内では90%超と高い水準だが、府外の認知度は60%程度と低く、府内外で約30ptの差。 ● 「テーマの認知度」や「万博への興味・関心度」等については、府内でも40～60%程度。 2 課題 ・ 大阪府外での認知度が府内と比べ低い。 ・ 府内でもテーマの認知度や万博への興味・関心度等が低い。 全国的に万博への認知度等をさらに上昇させ、一人でも多くの方々に万博に対する興味や関心、期待感を高めていただくことが、万博の成功の鍵。										
3. 今後の取組方向と目標 今後の取組方向 ▶ 博覧会協会をはじめ、関係機関(都道府県・市町村・経済界等)と連携しながら、府内外に向けて広報やプロモーション活動を展開 ▶ 各主体が有する地域の強みや企業の海外拠点など、あらゆるツール・ネットワークを活用し、大阪・関西から全国、ひいては海外へと機運を盛り上げていく ▶ 開催都市として、まずは府内の機運を高めていく 【進め方】「2025大阪・関西万博推進本部」のもと、全庁で一丸となって取り組む ・ アンケート調査等を活用し、機運醸成の進捗管理を実施 ・ 各部署・区役所等が、様々な機会を通じて、主体的に機運醸成の取組みを展開 1 目標設定 ▶ 機運醸成にあたっては、2025年まで各年度に数値目標を設定し、進捗を管理する。(数値目標については、今後協会が策定する「(仮称)広報・プロモーションマスタープラン」を踏まえ、設定を検討。)	4. 大阪府・市の役割(イメージ) 万博をインパクトに、大阪の成長・発展につなげていく										
5. 2022年度の取組内容(万博の機運醸成の取組み) 1/7 2022年度の方針 開催1000日前(7月18日)などの節目のタイミングをとらえて、人々の記憶に残るインパクトのあるイベントの開催など、以下の柱を中心としたPR活動を本格展開していく。 (1)府・市の取組み(行政ネットワークの活用した取組み) ①広くPRを図るもの ②府民・市民参加型の仕掛けによりPRするもの (2)経済団体・企業等と協力・連携した取組み (1)府・市の取組み(行政ネットワークを活用した取組み) ① 広くPRを図るもの 1 府・市、府内市町村の庁舎内や公共施設等への装飾 大阪府・大阪市の庁舎内に、パネルやタペストリー等の装飾を実施。また、府内市町村をはじめ、関係機関に対し、カウンタートラフボードや、ロゴをデザインした下水マンホール蓋の設置、デジタルサイネージでの動画放映、のぼり等の装飾への協力を働きかけ。 1 公用車等を活用したPR ・ 府・市関係部局や府内市町村等の公用車にロゴマークを活用したマグネットシート等を貼り付け、大阪全域でのPRを実施。 ・ EVバス・FCバスやUDタクシーの導入費用補助の対象事業者の協力によるPR。	5. 2022年度の取組内容(万博の機運醸成の取組み) 2/7 1 府・市が有する様々なPRツール等を活用した発信 ・ あらゆる機会を活用し、チラシやポスター、パンフ、エコバッグ、衛生用品等のPRグッズの配布や掲示等を実施。 ・ 職員の名刺や、各所置で印刷する冊子・広報物へのロゴマーク掲載、自治体広報紙や使用水量等のお知らせ票などの住民向け配布物を活用したPRの実施。 1 府・市関係部局が実施する万博関連事業と連携したPR ・ 関係部局において実施する万博関連事業等と連携したPRの実施。 【大阪府・市の関係部局での主な取組み例】 <table> <tr> <th>府・市の関係部局</th><th>事業内容等</th></tr> <tr> <td>大阪府 商工労働部 大阪府 経済戦略局</td><td>「空飛ぶクルマ」の実証実験支援等を通じた社会実用性の向上や万博の機運醸成。商店街や店舗の魅力を発信するポータルサイトや、府内・市内の商店街におけるタペストリー、のぼり等の演出を通じて万博の機運醸成を図るPRの実施</td></tr> <tr> <td>大阪府 環境農林水産部 大阪府 環境局</td><td>「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に向けたプラスチックごみ削減の取組みを通じた万博テーマのPR</td></tr> <tr> <td>大阪府 健康医療部</td><td>府内主要駅等で「健活10」の広告ジャックを実施</td></tr> <tr> <td>大阪府 教育庁 大阪府 教育委員会</td><td>博覧会協会が作成した教育プログラムの活用による府内・市内小中学校における万博やSDGs学習</td></tr> </table>	府・市の関係部局	事業内容等	大阪府 商工労働部 大阪府 経済戦略局	「空飛ぶクルマ」の実証実験支援等を通じた社会実用性の向上や万博の機運醸成。商店街や店舗の魅力を発信するポータルサイトや、府内・市内の商店街におけるタペストリー、のぼり等の演出を通じて万博の機運醸成を図るPRの実施	大阪府 環境農林水産部 大阪府 環境局	「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に向けたプラスチックごみ削減の取組みを通じた万博テーマのPR	大阪府 健康医療部	府内主要駅等で「健活10」の広告ジャックを実施	大阪府 教育庁 大阪府 教育委員会	博覧会協会が作成した教育プログラムの活用による府内・市内小中学校における万博やSDGs学習
府・市の関係部局	事業内容等										
大阪府 商工労働部 大阪府 経済戦略局	「空飛ぶクルマ」の実証実験支援等を通じた社会実用性の向上や万博の機運醸成。商店街や店舗の魅力を発信するポータルサイトや、府内・市内の商店街におけるタペストリー、のぼり等の演出を通じて万博の機運醸成を図るPRの実施										
大阪府 環境農林水産部 大阪府 環境局	「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に向けたプラスチックごみ削減の取組みを通じた万博テーマのPR										
大阪府 健康医療部	府内主要駅等で「健活10」の広告ジャックを実施										
大阪府 教育庁 大阪府 教育委員会	博覧会協会が作成した教育プログラムの活用による府内・市内小中学校における万博やSDGs学習										

5. 2022年度の取組み内容(万博の機運醸成の取組み) 3/7

1 庁内各部署・府内市町村等主催の集客イベントへのブース出展

・大阪府・市の関係部局や、府内市町村等において実施される集客イベントやフォーラム等に万博ブースの出展やグッズ配布等を行い、イベントへ参加する多くのの方々へPRを実施。

【大阪府・市の関係部局主催イベントへの出展例】

府・市の関係部局	開催日	イベント名
大阪府 政策企画部	4月29日 ～5月1日	Warai Mirai Fes 2022 Ready to EXPO 2025
	4月19日 ～5月15日	2025年大阪・関西万博に向けて めざそう！「10歳若返り」展示
大阪府 府民文化部 大阪府 経済戦略局 大阪府・市万博推進局	秋頃	御堂筋オータムパーティー2022
大阪府 経済戦略局	10月15日～ 10月23日	大阪城天守閣 復興90周年記念イベント
大阪府 環境農林水産部	10月23日(予定)	魚産(なにも)の海づくり大会
大阪府 教育庁	2月12日	ワクワドキキSDGs ジュニアフォーラム
大阪府 環状局	10月8日(予定)	こみ蔵フェスティバル
大阪府 建設局	11月12日(予定)	ECO緑日2022
大阪府 建設局	11月5日、6日	はならんまん2022
大阪府 消防局	1月(予定)	消防出初式



市町村主催の集客イベントへのブース出展(2022年10月20日)



大阪府・市関係部局主催のイベントへの出展(2022年10月10日)

【府内市町村主催イベントの出展】

- ・府内7地域(三島、豊能、北河内、中河内、南河内、泉北、泉南)ごとに、概ね1万人以上の集客が見込まれるイベントを中心に、適宜出展予定。
- ・なお、大阪市各区での開催イベントにも適宜出展を予定。

7

5. 2022年度の取組み内容(万博の機運醸成の取組み) 5/7

(1) 府・市の取組み(行政ネットワークの活用した取組み)

2 府民・市民参加型の仕掛けによりPRするもの

1 パーチャル・大阪を活用したPRの実施

- ・パーチャル大阪やYouTube等において、若者をはじめ多数の方の視聴を期待できるコンテンツを制作・提供。
(例：人気YouTuberを起用した音楽ライブやトークイベント、万博会場となる夢洲の360度映像の放映等)。
- ・アバターとして各自が参加することで、楽しみながら万博の理解を深める。



「パーチャル大阪」のイベント(2022年12月19日)

2 SNSやHPを活用した情報発信

- ・イベント等の実施時など、タイムリーにTwitter等のSNSやHPを活用して情報発信を実施。
- ・府民・市民をインフルエンサーと見立てて、府内市町村との連携イベント等での万博PRブースの出展時に、訪れた方々自らSNSで情報発信を行っていただく。



大阪府Twitterを活用した情報発信

9

5. 2022年度の取組み内容(万博の機運醸成の取組み) 7/7

(2) 経済団体・企業等との協力・連携

1 公共交通機関等への働きかけ

- ・公共交通機関等(電車、バス、タクシー、トラックなど)の車両装飾や車内広告、主要駅・空港でのポスターやデジタルサイネージ等の実施に向け、博覧会協会と連携して、事業者への協力を要請。



ラッピングトラック(イメージ)

2 シティドレッシング

- ・多くのの方々の目に触れる屋内外の様々な場所において、ポスターやのぼり、街頭パナーの掲出、デジタルサイネージを活用したPR動画の放映など、各施設を管理する関係機関に対し、博覧会協会と連携し、効果的なタイミングで協力を要請。



ATCデジタルサイネージを活用したPR

3 ロゴマーク等の商用利用の促進

- ・博覧会協会におけるライセンス事業開始にあわせ、企業によるロゴマーク等の商用利用を促進。

4 経済団体・企業等によるPR

- 経済団体や、府・市の包括連携協定締結企業をはじめとする各種企業が有する様々なPRツールやネットワーク等の活用に向けて、働きかけを実施。
(主な取組みイメージ)
- ・企業広報誌や広告、パンフレット等へのPR記事の掲載
- ・各企業や団体等のHPやSNS等でPR
- ・大規模集客イベント等の場を活用したPR
- ・企業の海外支店等を通じた情報発信 等

11

5. 2022年度の取組み内容(万博の機運醸成の取組み) 4/7

府内市町村や関西広域連合、全国知事会等によるPR

- ・大阪、関西、全国、海外に向けたPRを実施できるよう、博覧会協会と連携を取りながら、関係機関が有する様々なPRツールやネットワーク等の活用に向けて、働きかけを実施。

【関係機関等による主な取組みイメージ】

連携先	取組みイメージ
府内市町村	・講演会や集客イベント等で府民・市民が訪れるタイミングでチラシの配架 ・庁舎内や道の駅など府民・市民が訪れる場所へのポスターやチラシなどを設置 ・庁舎内のデジタルサイネージ等を活用して、PR動画等を放映 ・市町村が発行する広報紙等の寄附物や公用封筒、各種PRグッズ等に万博のロゴ等を掲載 ・市町村の有するHPやSNS等での配信
関西広域連合 全国知事会 等	・各自自治体で発行する広報紙等の寄附物等へのPR記事の掲載 ・各自自治体が所管する公共施設等におけるPRツールの設置
大阪観光局	・大阪への国内・海外旅行客向け誘客の取組みと連携したPR
国、政府機関 等	・国やJETRO(日本貿易振興機構)等を通じた海外向けのPR ・国等会議や駐日大使等の表敬訪問等を捉えたPR

8

5. 2022年度の取組み内容(万博の機運醸成の取組み) 6/7

「万博の桜2025」の取組みの加速化

- ・万博の機運醸成を図るため、多くの方々からの寄付(1口1万円)をもとに、2025本の桜を植樹し、記念に寄附者のネームプレートを設置(2020年4月～)。
- ・これまで同様、様々なPRツールで幅広く寄附の募集を呼びかけるとともに、企業等への積極的な働きかけを実施。加えて、植樹の様子や場所、寄附金額の進捗状況などをタイムリーにHPやSNS等で発信。



「万博の桜2025」チラシ

万博の開催意義やテーマ等の理解促進

- ・万博の開催意義やテーマ等の理解促進につなげていくため、大阪・関西万博に関連する講演やパネルディスカッションなどを実施。
- ・万博のテーマ等を大人から子どもまでわかりやすく伝えるプロモーション動画を作成し、府・市の庁舎や市町村のイベント等で放映。
- ・加えて、児童・生徒向けのポスターや高校生用の冊子を作成・配布。



2025年大阪・関西万博「万博の桜2025」に関するパネルディスカッション(2022年4月20日)

10

6. 2022年度の実施スケジュール(予定)

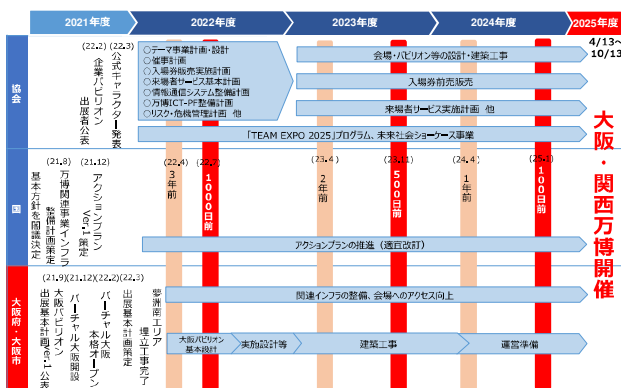
コロナ感染拡大の状況等を見極めつつ、まずは1000日前(7/18)など節目のタイミングにおいて、関係機関と連携した取組みを展開。

	2022年度上半期	2022年度下半期
協会	○3年前イベント(4月) ●ライセンス事業開始	○テーマソング第一弾の発表 ●ロゴマーク・キャラクター等の活用
大阪府・大阪市	●協会との連携イベント ●庁舎内・公共施設等の活用 ●公用車等を活用したPR ●公共交通機関等への働きかけ ●シティドレッシング ○万博の桜2025の取組みの加速化 ○パーチャル大阪を活用したイベント実施 ○SNSやHP、PRツールを活用した情報発信 【関係部局実施の主な万博関連事業】 ●商店街を活用したPR ○「建太10」×「万博」広告ジャック	○プロモーション動画、冊子の作成 ○講演会等の開催
【主なイベントへのブース出展】	○「Warai Mirai Fes」 ○「10歳若返り展示」	○大阪城天守閣復興90周年記念イベント ○「御堂筋オータムパーティー」 ○「ワクワドキキSDGsジュニアフォーラム」
関係機関	○府内市町村・関西広域連合や全国知事会、経済団体等によるPR	

※上記以外にも万博機運の盛り上げにつながる広報・プロモーション活動を適宜実施。

12

(参考) 2025年までのスケジュールイメージ(全体像)



13

【配付資料 8】 令和 4 年 8 月30日（火） 委員協議会

2025年大阪・関西万博の開催に向けた取組み

資料 1

大阪・関西万博＝世界一のイベントとして成功させるだけでなく、そのインパクトを最大限に活用し、大阪・関西、ひいては日本の成長、発展の原動力にすることが重要。そのために必要不可欠なソフト事業や環境改善の推進を推進。あわせて、都市の緑地空間のさらなる緑化促進とともに、万博会場やその周辺のインフラ整備等を推進に推進。あわせて、大阪市内の各エリアに必要に応じて交通や娯楽に関する施策を推進するとともに、環境配慮型アクティビティに関する施策を推進し、万博会場の魅力を高める。

1. 万博会場の整備

2. 万博会場の運営

3. 万博会場の環境

4. 万博会場の経済

5. 万博会場の文化

6. 万博会場の社会

7. 万博会場の国際

8. 万博会場の未来

会場整備等に関する取組み

資料 2

1. 会場整備等に関する取組み

2. 万博会場の整備

3. 万博会場の運営

4. 万博会場の環境

5. 万博会場の経済

6. 万博会場の文化

7. 万博会場の社会

8. 万博会場の国際

9. 万博会場の未来

大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn に関する取組み

資料 3

1. 大阪ヘルスケアパビリオンの概要

2. 万博会場の整備

3. 万博会場の運営

4. 万博会場の環境

5. 万博会場の経済

6. 万博会場の文化

7. 万博会場の社会

8. 万博会場の国際

9. 万博会場の未来

機運醸成に関する取組み

資料 4

1. 万博会場の整備

2. 万博会場の運営

3. 万博会場の環境

4. 万博会場の経済

5. 万博会場の文化

6. 万博会場の社会

7. 万博会場の国際

8. 万博会場の未来

資料- 36

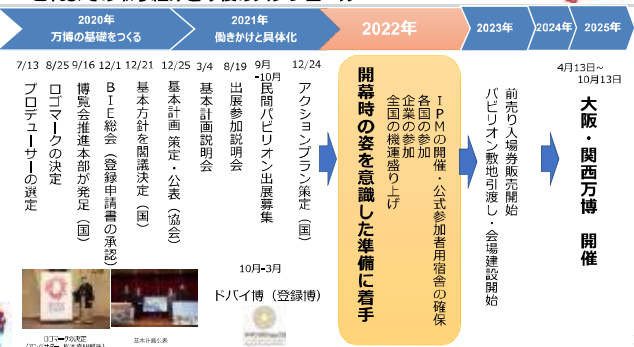
2025年日本国際博覧会
(大阪・関西万博)について

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 12月5日

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 概要①

- [illegible]

これまでの取り組みと今後のスケジュール



公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 概要②

- 【事務局組織図】**

2019年1月30日
法人設立

2019年4月19日
万博特別協議法成立

2019年5月21日
経済産業大臣が当協会を博覧会
業務を行う法人に指定

2019年10月21日
内閣府お公盆協定を受け、
公益社団法人になる

●人員（2022.12.1時点）

国・大阪府・大阪市・関西広域連合構成府県
市・経済界等より職員を派遣（500名）

万博の主要な担い手 プロデューサー

会席デザイン プロデューサー		会席演出 プロデューサー		テーマ事業 プロデューサー	
藤本 壮介 取締役  （左写真）	石川 勝 ディレクター・プロデューサー  （右写真）	宮田 祐章 東京経済大学助産師  （左写真）	石黒 浩 東京大学大学院農学系 農学博士・農学助産師・栄養師 A17農学助産師の代表者兼会長  （右写真）	中島 ちと子 作家 小説家・脚本家 『ぼくは人間観察家』  （左写真）	落合 陽一 作家 小説家・脚本家 『ぼくは人間観察家』  （右写真）
准企画 プロデューサー 小橋 賢児 クリエイティブディレクター  （左写真）		福岡 伸一 作家 南山大学大学院助産師  （左写真）	河城 正治 作家・小説家 スピンオフディレクター 宮城県松島大学助産師  （左写真）	小山 薫堂 作家 宮城県松島大学助産師  （左写真）	河瀬 直美 映画作家  （右写真）

シニアアドバイザー

- 協会における重要課題や専門的事項について、専門知識や経験等を有する方から助言を受けるため、シニアアドバイザーを設置

(上十名目：敬称略)

	安藤 忠雄 建築家 Photo by 野村文次		池坊 専好 華道家・池坊 花道会元		大崎 洋 日本経済ジャーナル ディレクション編集長 社代表取締役会長		桂 文枝 演歌家
	河瀬 直美 映画監督 OJ.FS.JEKE		コロート キャンベル 早稲田大学教授		コシノ ジュンコ デザイナー		五神 真 東京大学大学院 理学系研究科 教授
	ウスビ・サコ 京都府舞臺大子 詩吟子 金華研究機構員・人間学 研究センタープログラム 収容		千 家宜 新薬業 千手薬元		西尾 章治郎 大阪大学教授		宮田 亮平 金工士
	山極 幸一 総合地球環境学 研究所長		山崎 直子 宇宙飛行士 J-NASA		吉田 憲司 国立民族学博物館長		

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催概要

- 大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体现する様々な参加形態や事業、会場のデザインを含む会場計画、運営計画、資金計画等をまとめた協会のマスタープラン「基本計画」を2020年12月25日策定・公表
- 基本計画に基づき、参加国・国際機関間の招請活動や企業・団体・自治体・市民団体等の参加と共益を促進するとともに、各事業の実施計画の策定や具体的な取り組みを推進

開催概要

名 称	2025年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）
テーマ	いのち輝く 未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちにかき与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	People's Living Lab（未来社会の実験場）
会 場	夢洲（ゆめしま）（大阪市此花区）
開催期間	2025年4月13日～10月13日
来場者数	約2,820万人



会場デザイン① ～世界とつながる海と空に囲まれた万博～

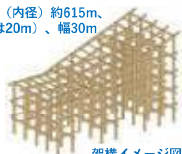
- 四方を海に囲まれた会場ロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」に囲まれた万博としての会場デザイン及び企画などを実施。
- 「非中心・離散」の理念によって多様性を鼓舞し、そこに「つながり」を重ね合わせた「多様でありながら、ひとつ」をデザイン。



会場デザイン② ～大屋根（リング）～



円周約2km、直径（内径）約615m、
高さ12m（外側は20m）、幅30m



架構イメージ図

リング1F：グラウンドウォーク

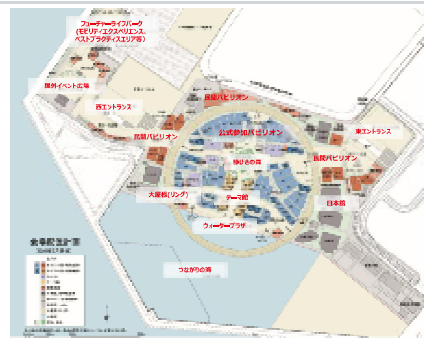


リング2F：スカイウォーク



9

会場レイアウト①（会場予定地 約155ha）



10

会場レイアウト② パビリオン



11

公式参加パビリオン

- 大阪・関西万博の3つのサブテーマを通じて、テーマの実現を目指す。
- 世界各国の公式参加者（参加国や国際機関）は、それぞれの立場からSDGs達成に向けた優れた取り組みを持ち寄り、会場全体でSDGsが達成された未来社会の姿を描く。

サブテーマ	公式参加パビリオンのテーマ展開のトピック例	SDGs 17のゴール
一つ以上を選び	国々の発展、経済発展の推進、社会生活の向上、社会生活の向上	一つ以上を選び
Saving Lives (いのちを救う)	生活の中心の健康、健康寿命の延伸、心（精神）の健康、季節と衣食住、食、資源環境の解決、児童死に等しい生活、等	
Empowering Lives (いのちを力を与える)	自己実現、ファッション、文化、芸術、スポーツ、学び、等	
Connecting Lives (いのちをつなぐ)	デジタル活用、地球環境を考慮した行動、気候変動への対応、等	

150の国及び25の国際機関の参加を目指す

12

企業・団体等の参加 ～多様な参加形態を用意～

- 企業・団体等とともにテーマの実現をめざすパートナー。大阪・関西万博では、これまでの万博よりも幅広い、多様な参加形態を用意。
- パビリオン出展、テーマ事業協賛、未来社会ショークース事業参加、「TEAM EXPO 2025」プログラム参加、催事参加、営業参加、会場建設費等への寄附等

パビリオン出展 万博のテーマに沿って自由な発想で独自に企画・出展する参加 募集終了	テーマ事業協賛 8名のプロデューサーが企画するテーマ事業に協賛社として参加 資金 施設・物品・役務提供	未来社会ショークース事業出展 会場内で未来社会の実証・実装やテーマを具現化する展示を行う参加 事業出展 資金・施設・物品・役務提供		
会場整備参加 運営参加 施設・物品・役務提供	TEAM EXPO 2025 参加 共創チャレンジ 共創パートナー	催事参加 資金・施設・物品・役務提供	営業参加 営業施設出店 ライセンスビジネス	万博応援参加 広報・プロモーション 寄附

13

民間パビリオン出展者が構想概要を発表(2022.5.30)

- (五十音順)
- ・飯田グループホールディングス株式会社
 - ・住友EXPO2025推進委員会
 - ・特定非営利活動法人ゼン・ジャパン
 - ・玉山デジタルテック株式会社
 - ・電気事業連合会
 - ・一般社団法人日本ガス協会
 - ・日本電信電話株式会社
 - ・株式会社バンダイナムコホールディングス
 - ・株式会社パナソニック
 - ・パナソニックホールディングス株式会社
 - ・三菱大阪・関西万博総合委員会
 - ・吉本興業ホールディングス株式会社



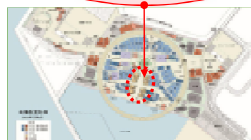
14

テーマ事業の概要

テーマ事業名称	いのちの輝きプロジェクト
テーマ事業の構成	「いのちの輝き」を語り、深め、未来に残すことを象徴するパビリオンとイベントで構成する

シグネチャーパビリオン

8人のプロデューサーによる展示で
会場内最大規模の領域型パビリオンを構成



シグネチャーイベント

会場の内外でイベントを実施

※リアル会場での展開を基本にバーチャル会場、スマート運営サービスでの展開を行います。

万博を象徴する特別な事業でありたいという思いを「シグネチャー」という言葉に込めました。そして、テーマ事業が、その特徴あるクリエイティブ・プログラムによって、8人の専門家が、テーマをそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」でもありま。

15

テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」のコンセプト・展示イメージ



大阪・関西万博テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」基本計画を4月18日に発表

16

資料 1

令和6年度当初予算案の概要（交付税措置）

上段：令和6年度財務処理工事関係
交付税関係の交付税使途分類

下段：令和6年度当初予算案

(一般設計)

事業名	5月1日市債 5月1日基金充振 4月1日予備費計	額	率
2025日本万両町議会新築 事業費	7,963 — (3,441)	2025年日本万両町議会新築・建設・修繕等の交付税使途の交付税の交付金に充てる経費のうち、交付税が負担する額	

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

資 料

2025年大阪・関西万博推進特別委員会 報告書（構成案）

〇はじめに

1 委員会の概要

- （１）委員会の設置目的
- （２）調査検討項目
- （３）運営方法

2 審 議 経 過

3 審 議 概 要

4 主な提言・提案等のとりまとめ

5 委員会設置要綱

6 委 員 名 簿

資料2 2025年大阪・関西万博推進特別委員会 委員長報告（案） 2025年大阪・関西万博推進特別委員会 委員長の徳村 さとるでございます。 本委員会は、2025年大阪・関西万博の成功に向けて、効果的な推進方策について調査研究等を行うことを目的として、令和元年5月に設置され、約4年の間に委員会及び委員協議会を合計12回開催してきました。 この間、委員会等では、機運醸成の取り組みやインフラ整備計画をはじめとした関連事業計画等、主に万博の取組みに関する現状について、理事者等から説明を聴取するとともに、質疑を通じて様々な課題を掘り起こし、多角的な観点から議論を重ねてきました。 中でも、令和4年6月には、翌月に万博開催1000日前のイベントを控えたことから、さらなる機運醸成の取組みを中心に、理事者と議論を深めました。 また、同年12月には、万博の実施主体である、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会をお招きし、会場整備をはじめ、機運醸成の取組みや運営等について、活発な議論を交わしました。 その結果、万博の開催、そして成功へとつながっていくため、「会場の整備等の着実な推進」など、5項目について具体的な提言等を取りまとめるに至りました。 知事はじめ理事者におかれましては、万博の開催に向けたさらなる機運醸成や着実な準備活動等について、関係機関との緊密な連携のもと、本報告書の提言等も踏まえつつ、取組みを進められるようお願いいたします。 最後に、本委員会の役割は、一旦終えることとなりますが、今後、万博の取組みが本格化することから、成功に向け、引き続き大阪府議会として、理事者とともに取り組んでいく必要があることを申し添えて、本委員会の報告といたします。 ご清聴ありがとうございました。	資料1 2025年大阪・関西万博推進特別委員会 報告書（案） (令和元年5月～令和5年3月) 大阪府議会 2025年大阪・関西万博推進特別委員会
--	--